2026 年 8 月 5 日

＝自転車ＪＩＳ改正案に対する意見募集について＝

一般財団法人 自転車産業振興協会

当協会は自転車 JIS 規格の原案作成団体として、これまで多くの自転車 JIS 規格の改正・審議を実施してきております。

さて、今般、下記の自転車 JIS 規格（2 規格）については、業界有識者で構成する「タイヤ及びリム原案作成委員会」において、改正内容を十分審議・検討した上で、改正案を取りまとめました。今回の JIS K 6302 及び JIS D 9421 の改正では、ISO 5775-1:2023 及び ISO 5775-2:2021 との整合化を主な目的として、対応国際規格に合わせてチューブレス対応のタイヤ、チューブレスリムを規格の適用範囲に追加し、タイヤの呼び及びリムの呼びについて対応国際規格の表記を優先しております。

つきましては、この改正案に対して、自転車業界関係者（製造事業者、販売事業者、輸入事業者など）に広く周知を行い、幅広いご意見をいただきたく、下記の要領により意見募集をいたしますので、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

対象規格	［改正：2 規格］ JIS K 6302 自転車－タイヤ JIS D 9421 自転車－リム
意見募集期間	2026 年 8 月 5 日（水）～ 2026 年 9 月 4 日（金）
意見募集方法	会社名、担当者名、連絡先等を必ず明記の上、下記の問合せ先まで文書、又は電子メールで送信願います。（様式は問いません）
問合せ先	〒590-0948 大阪府堺市堺区戎之町西１丁３－３ （一財）自転車産業振興協会　技術研究所（担当：北野） ＴＥＬ　072-238-8731 ＦＡＸ　072-238-8271 e-mail webmaster@jbpi.or.jp
その他	・ＪＩＳは著作権の関係上、全文を掲載することは出来ません。 ・頂戴したご意見等は、その内容に応じて別途、検討させていただきます。 ・掲載した改正案は最終版ではありません。今後の各種審議過程で内容が変更となる場合があります。

パブリックコメント用

今回の改正で、対応国際規格に合わせて規格中で使用するタイヤ及びリムの種類に関する用語を追加、見直し予定である。タイヤ及びリムの種類に関する用語について JIS K 6302:2011 及び JIS D 9421:2009 で使用している用語との新旧対比表を以下に示す。

タイヤの種類に関する用語の新旧対比表

JIS K 6302:2011	改正案
－	クリンチャータイヤ [1]
－	チューブレスタイヤ [1]
－	チューブレスレディタイヤ [1]
－	チューブタイヤ [1]
チューブラタイヤ（丸タイヤ）	チューブラータイヤ [1]
WO タイヤ	ストレートサイドタイプリム又はクロチェットタイプリムに取り付けるクリンチャータイヤ
WO タイヤ	ワイヤードオンリムに取り付けるクリンチャータイヤ
HE タイヤ	フックドビードリムに取り付ける“ビーデッドエッジ”タイヤ
BE タイヤ	運搬車用ビーデッドエッジタイヤ
[1] 対応国際規格に合わせて追加予定。	

リムの種類に関する用語の新旧対比表

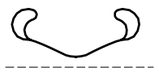
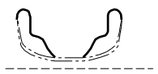
JIS D 9421:2009	改正案
SS リム	ストレートサイドタイプ（SS）リム
－	チューブレスストレートサイドタイプ（TSS）リム [1]
CT リム	クロチェットタイプ（C）リム
－	チューブレスクロチェットタイプ（TC）リム [1]
WO リム	ワイヤードオン（WO）リム
HB リム	フックドビード（HB）リム
HE リム	フックドエッジ（HE）リム
BE リム	運搬車用ビーデッドエッジ（BE）リム
[1] 対応国際規格に合わせて追加予定。	

パブリックコメント用

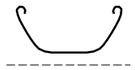
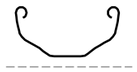
JIS D 9421（自転車－リム）対比表

No.	JIS D 9421:2009	改正案（赤字：追加及び変更点）
1	序文 この規格は，1996 年に第 2 版として発行された **ISO 5775-2**，及び Amendment 1 (2001)を基に作成した日本産業規格であるが，技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。 なお，この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は，対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて，**附属書 JA** に示す。	序文 この規格は，2021 年に第 4 版として発行された **ISO 5775-2** を基とし，我が国の実状を反映して安全性の確保などを図るため，技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。 なお，この規格で，箇条番号及び細分箇条番号の後に“A”から始まるラテン文字の大文字を付記した箇条及び細分箇条並びに**附属書 JA** は，対応国際規格にはない事項である。 旧規格である **JIS D 9421**:2009 から表記が追加及び変更となった用語について，**附属書 JA** に示す。また，側線又は点線の下線を施してある箇所は，対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて，**附属書 JB** に示す。
2	**1　適用範囲** この規格は，主として，**JIS D 9111** に規定する一般用自転車及び幼児用自転車に用いるリム（以下，リムという。）について規定する。	**1　適用範囲** この規格は，**JIS D 9111** に規定する自転車に用いるリム（以下，自転車用リムという。）及び主として人力によって，構内，屋内などで人及び動物を除く荷物を運搬するために用いる運搬車に用いるリム（以下，運搬車用リムという。）について規定する。
3	**注記**　この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を，次に示す。	**注記**　この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を，次に示す。
4	**ISO 5775-2**:1996，Bicycle tyres and rims－Part 2 : Rims 及び Amendment 1(2001) (MOD)	**ISO 5775-2**:2021，Bicycle tyres and rims－Part 2: Rims（MOD）
5	なお，対応の程度を表す記号(MOD)は，**ISO/IEC Guide 21** に基づき，修正していることを示す。	なお，対応の程度を表す記号“MOD”は，**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき，“修正している”ことを示す。
6	**2　引用規格** 次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。	**2　引用規格** 次に掲げる引用規格は，この規格に引用されることによって，その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。
7	**JIS D 9111**　自転車－分類及び諸元	**JIS D 9111**　自転車－分類，用語及び諸元
8	**JIS D 9112**　自転車用タイヤ－諸元	
9	**JIS D 9420**　自転車用スポーク	**JIS D 9420**　自転車－スポーク及びニップル
10	**JIS D 9422**　自転車用タイヤバルブ	**JIS D 9422**　自転車用タイヤバルブ
11	**JIS H 8617**　ニッケルめっき及びニッケルークロムめっき	**JIS H 8617**　ニッケルめっき及びニッケルークロムめっき
12	**JIS K 6302**　自転車用タイヤ	**JIS K 6302**　自転車－タイヤ
13	**ISO 5775-1**　Bicycle tyres and rims－Part 1: Tyre designations and dimensions	
14		**3　用語及び定義** この規格で用いる主な用語及び定義は，次によるほか，**JIS D 9111** 及び **JIS K 6302** による。
15		**3.1** **リムベース**（rim base） 装着時，膨張時及び使用時にタイヤのビード部と接触する，リム断面における各部の寸法及び形状のタイヤ側部分
16		**3.2** **リムベース保護材** スポーク，ニップル及びバルブ穴に自転車タイヤ用チューブ（以下，チューブという。）が接触しないように保護するための部品
17		**例**　リムテープ，リムバンドなど
18		**3.3** **リムウェル** リム断面において，主にタイヤ脱着時にタイヤのビード部を落とし込むためのくぼみ部分
19		**3.4** **ビードシート** タイヤのビード部が密接するリム内側の上面部分

パブリックコメント用

20		**4　記号及び略語** この規格で用いる記号及び略語は，次による。
21		・ A ： リム幅 ・ D_s ： 規定リム径 ・ D_m ： 測定マンドレル径 ・ D_1 ： 測定リム径（ビードシート径に対応する） ・ D_2 ： リム外径 ・ G ： フランジ高さ ・ H，H_1 ： 最大ウェル深さ（リムベース保護材を含み，障害物がない） ・ L ： 巻尺の理論上のテープ長さ ・ L_1 ： ウェル幅（リムベース保護材を含む） ・ P ： ビードシート幅 ・ R_4 ： ウェル上部半径 ・ W ： 巻尺のテープ幅 ・ C ： クロチェットタイプリム ・ SS ： ストレートサイドタイプリム ・ TC ： チューブレスクロチェットタイプリム ・ TSS ： チューブレスストレートサイドタイプリム
22	**3　リムの種類及びその記号** リムの種類及びその記号は，リムの形式及び形状によって区分し，**表 1** による。リムの種類は，**表 1** に示す BE リム [1]，WO リム [2]［又は SS リム [3]］，HE リム [4]［又は HB リム [5]］及び CT リム [6]の 4 種類とする。	**5　リムの種類及びその記号** リムの種類及びその記号は，用途，リムの形式及び形状によって区分し，次による。
23		**a)　用途による区分**　用途による区分は，次の 2 種類とする。
24		**1)**　自転車用リム
25		**2)**　運搬車用リム
26		**b)　リムの形式及び形状による区分**　リムの形式及び形状による区分は，次の 8 種類とする。
27	**注 [1]**　ビーデットエッジリムの略。	**8)**　運搬車用ビーデッドエッジ（BE）リム
28	[2]　ワイヤードオンリムの略。	**5)**　ワイヤードオン（WO）リム
29	[3]　ストレートサイドリムの略。	**1)**　ストレートサイドタイプ（SS）リム
30		**2)**　チューブレスストレートサイドタイプ（TSS）リム
31	[4]　フックドエッジリムの略。	**7)**　フックドエッジ（HE）リム
32	[5]　フックドビードリムの略。	**6)**　フックドビード（HB）リム
33	[6]　クロチェットタイプリムの略。	**3)**　クロチェットタイプ（C）リム
34		**4)**　チューブレスクロチェットタイプ（TC）リム
35	**表 1－リムの種類及びその記号** 種類（記号）／形式／リムの呼び幅 [a]／形状の例 BE リム [b]（BE）／BE-1／(22.2)，(25)／  WO リム（WO）又は SS リム [c]（SS）／WO-2，WO-4／(20.3)，(16.5)／ WO-3，WO-5／(22.5)，(20.3)／ SS／18，20，22，24，27，30.5／ 	

パブリックコメント用

HE リム（HE）又は HB リム[d]（HB）	HE-1	(25)	
	HE-5	(20)	
	HB	20，25，27	
CT リム[c]	CT	13C，15C，17C，19C，21C，23C，25C	

注記 1 SS リム，HB リム及び CT リムは，**ISO 5775-2** に規定するリムに該当するものであって，外幅寸法を規定していないので，二点鎖線を用いてその形状の例を示す。

注記 2 リムバンドの幅及び厚さは，使用中にスポークヘッドとスポーク穴とを完全にカバーするほかに，横方向に安定して取り付けられるように，また，タイヤとチューブとを確実に取り付けできるように選択する。

注 [a] リムの呼び幅は，**表 5**，**表 6**，**表 8** 及び**表 9** の図における *A* の寸法を示すが，（　）を付けた呼び幅はリムの呼び方として用いない。

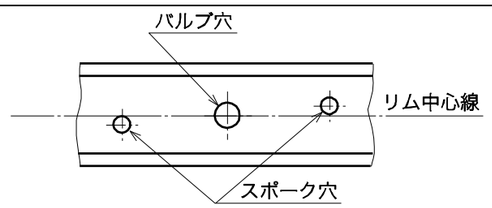
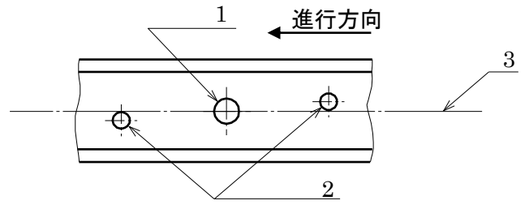
[b] BE リムは，**JIS D 9112** に規定する BE タイヤに適合する。

[c] WO リム又は SS リム，及び CT リムは，**JIS D 9112** に規定する WO タイヤ及び **ISO 5775-1** に規定する“ワイヤードエッジ”タイヤに適合する。WO リム又は SS リムは，**JIS K 6302** に規定する硬鋼線のビードワイヤを使用したタイヤを使用する。ただし，**JIS K 6302** に規定するタイヤのリム外れ強さを満足するアラミド繊維のビードワイヤを使用したタイヤは使用できる。CT リムは，硬鋼線及びアラミド繊維のビードワイヤを使用したタイヤを使用する。

[d] HE リム又は HB リムは，**JIS D 9112** に規定する HE タイヤ及び **ISO 5775-1** に規定する“ビーデッドエッジ”タイヤに適合する。

36	**4　構造** リムの構造は，次による。	**6　構造** リムの構造は，次による。
37	**a)**　リムは，滑らかな輪郭をもち，タイヤ側に鋭い角があってはならない。	**a)**　リムは，滑らかな輪郭をもち，タイヤ側面と接する部分に鋭い角があってはならず，タイヤを傷つけないように滑らかな表面でなければならない。
38	**b)**　継ぎ目のタイヤ側，並びにスポーク穴及びバルブ穴の端面に，著しいばりがあってはならない。	**b)**　継ぎ目のタイヤ側，並びにスポーク穴及びバルブ穴の端面に，著しい ばり があってはならない。
39		**c)**　リムベースでは，角が丸くなっているか，又は面取りされていなければならない。
40		**d)**　リムのタイヤで覆われていない部分には，バルブ又はチューブを傷つける可能性のある ばり があってはならない。
41		**e)**　リムベース保護材は，タイヤ側にスポーク穴が貫通しているリムに必要である。リムのバルブ穴は，リムベース保護材が適用され，タイヤを安全に取付け又は取り外されるように配置されなければならない。リムベース保護材の幅及び厚さは，使用中のスポーク，ニップルの頭部及びスポーク穴を完全に覆い，かつ，安定した横方向の収まりを保証し，タイヤ及びチューブの十分なかん合を可能にするように選定しなければならない。
42		**f)**　スポーク穴が貫通しているチューブレスリムの場合，リムベース保護材は，リム製造業者が推奨する最大空気圧に対して十分な気密性を備えなければならない。
43	**c)**　スポーク穴は，リム中心線から交互に離れており，かつ，均一に交互に離れていることが望ましく，スポーク穴の位置は，リムを外側（タイヤ側）から見たときに，**図 1** のように，バルブ穴に最も近い右手にあるスポーク穴が，リム中心線の上側の位置とする。	**g)**　スポーク穴は，リム中心線から交互に離れており，かつ，均一に交互に離れていることが望ましく，スポーク穴の位置は，リムを外側（タイヤ側）から見たときに，**図 1** のように，バルブ穴に最も近い右手にあるスポーク穴が，リム中心線の上側の位置にあることが望ましい。

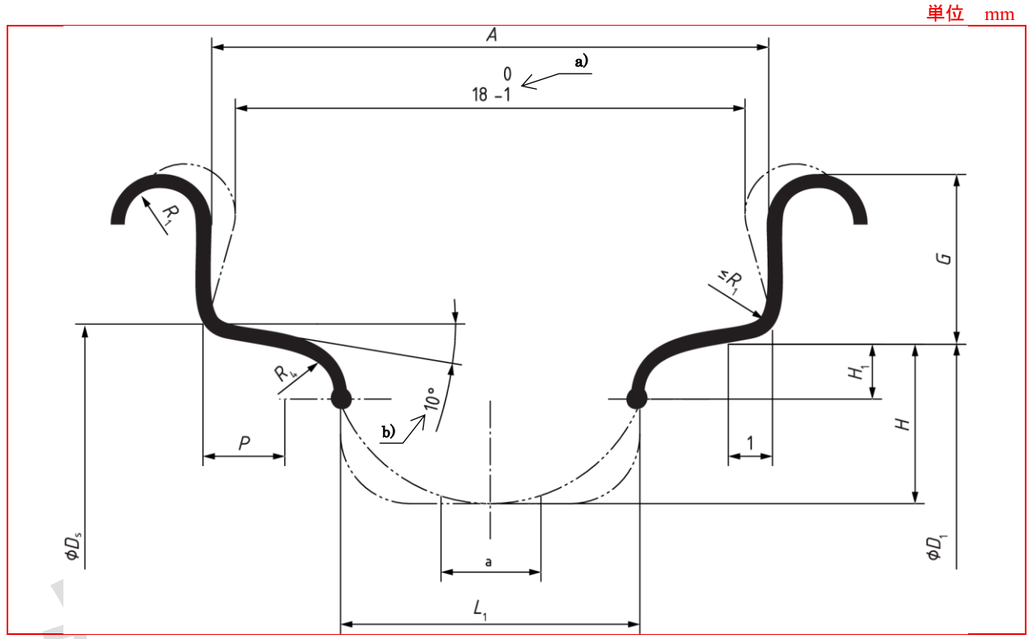
パブリックコメント用

44	 **図 1－バルブ穴位置**	 **記号説明** 1：バルブ穴 2：スポーク穴 3：リム中心線 **注記 1**バルブ穴径は **7.4** を参照。 **注記 2**スポーク穴径は **7.3** を参照。 **図 1－バルブ穴位置**
45		h) リムの寸法は，タイヤを取り付けることができる状態のリムベース保護材付きホイールアセンブリを参照する。したがって，リム製造業者は，タイヤの取付け，空気入れ及び使用に関連する全てのリム断面における各部の寸法を考慮して，リムベース保護材を指定しなければならない。最大ウェル深さ H 又は H_1 は，ウェル幅 L_1 と組み合わせて，リムベースの上方（リムベース保護材が使用される場合には，その上方）に，タイヤを適切に取り付けることができるように設計された障害物のない最小の空間を規定するものであり，この規定を達成するために，最大ウェル深さ H 又は H_1 はリム製造業者の裁量によって変更しなければならない。測定リム径 D_1 が 400 mm 未満のリムについては，最大ウェル深さ H を 1 mm 深くすることを推奨する。
46	**5　形状及び寸法**	**7　形状及び寸法**
47	リムの形状及び寸法は，次による。	**7.1　一般** リムの形状及び寸法は，**7.2** から **7.5** による。
48	**a)**　リムの各部の寸法は，種類ごとに**表 5**～**表 9** による。	
49	なお，許容差の記入がない寸法は，推奨寸法を示す。	なお，許容差の記入がない寸法は，推奨寸法を示す。
50	**注記**　リムの形状及び測定法の違いによって，測定結果にばらつきが発生しやすい。このため，自転車用リムの測定方法（例）を**附属書 A** に記載する。	**注記**　リムの形状及び測定法の違いによって，測定結果に ばらつき が発生しやすい。このため，自転車用リムの測定方法例を**附属書 A**（参考）として記載した。
51		**7.2　リムの各部の寸法**
52		**7.2.1　ストレートサイドタイプリム**
53		**7.2.1.1　リム断面における各部の寸法及び形状** ストレートサイドタイプリムの寸法及び許容差は，**図 2** 及び**表 1** による。 ストレートサイドタイプリムは，折り畳み式ではないタイヤ（スチールワイヤーなどのリジッドビードタイヤ）だけに使用する。
54		**7.2.1.2　リム径** ストレートサイドタイプリムの公称リム径の記号，規定リム径 D_s 及び測定リム径 D_1（測定方法の詳細に関しては，**附属書 A** 参照）は，**図 2** 及び**表 2** による。

パブリックコメント用

55

単位　mm



記号説明

A：リム幅

a：バルブ穴

D_s：規定リム径

D_1：測定リム径（ビードシート径に対応する）

G：フランジ高さ

H，H_1：最大ウェル深さ（リムベース保護材を含み，障害物がない）

P：ビードシート幅

R_4：ウェル上部半径

注記　バルブ穴径は 7.4 を参照。

注 a)　18　0/-1（リム幅が 18 mm のリムだけ）。

注 b)　5°～15°（公称リム径の記号が 400 以下の圧延リムの場合は 5°～25°）を許容。

図 2－ストレートサイドタイプリム

56

表 1－ストレートサイドタイプリムの寸法

単位　mm

公称リム幅の記号	A ±1	G ±0.5	H_1 最小	H_1 最大	L_1 最小	P 最小	R_1 最小	R_4 最小
16	16	5.5	1.8	6	9	1.5	1	1.5
18	18	6.5	1.8	6	10	1.8	1.5	1.5
20	20	6.5	2	6.5	11	2	1.8	1.5
22	22	6.5	3	7.5	11	2.2	1.8	2
24	24	7	3	7.5	11	3	2	2.5
27	27	7.5	3.5	8	14	3.5	2.5	2.5
30.5	30.5	8	3.5	8	14	3.5	2.5	2.5

57

表 2－ストレートサイドタイプリム及びクロチェットタイプリムの規定リム径及び測定リム径

単位　mm

公称リム径の記号	規定リム径 D_s	測定リム径 D_1 ±0.5
194	194.2	193.85
203	203.2	202.85

パブリックコメント

222	222.2	221.85
239	239.4	239.05
248	247.6	247.25
251	250.8	250.45
254	254.35	254.00
279	279.2	278.85
288	287.8	287.45
298	298.4	298.05
305	304.7	304.35
317	317.0	316.65
330	329.8	329.45
337	336.6	336.25
340	339.6	339.25
349	349.2	348.85
355	355.0	354.65
357	357.1	356.75
369	368.6	368.25
381	380.9	380.55
387	386.6	386.25
390	389.6	389.25
400	400.1	399.75
406	405.6	405.25
419	418.6	418.25
428	428.1	427.75
432	431.6	431.25
438	437.9	437.55
440	439.9	439.55
451	450.8	450.45
457	457.0	456.65
484	484.0	483.65
489	488.6	488.25
490	490.2	489.85
498	497.5	497.15
501	501.3	500.95
507	507.3	506.95
520	520.2	519.85
531	530.6	530.25
534	533.5	533.15
540	539.6	539.25
541	540.8	540.45
547	546.5	546.15
559	558.8	558.45
565	564.9	564.55
571	571.0	570.65
584	583.9	583.55
590	590.2	589.85
597	597.2	596.85
609	609.2	608.85
622	622.3	621.95
630	629.7	629.35
635	634.7	634.35
642	641.7	641.35

注記　測定されたビードシート円周（π×測定リム径 D_1）上の許容差は±1.57 mm である。

パブリックコメント用

58

7.2.2　チューブレスストレートサイドタイプリム

59

7.2.2.1　リム断面における各部の寸法及び形状

チューブレスストレートサイドタイプリムの寸法及び許容差は，**図 3** 及び**表 3** による。

“チューブレス”又は“チューブレスレディ”と表示されているタイヤは，チューブなしで使用可能である。

“チューブレス”又は“チューブレスレディ”の表示がないタイヤは，チューブを取り付けて使用しなければならない。

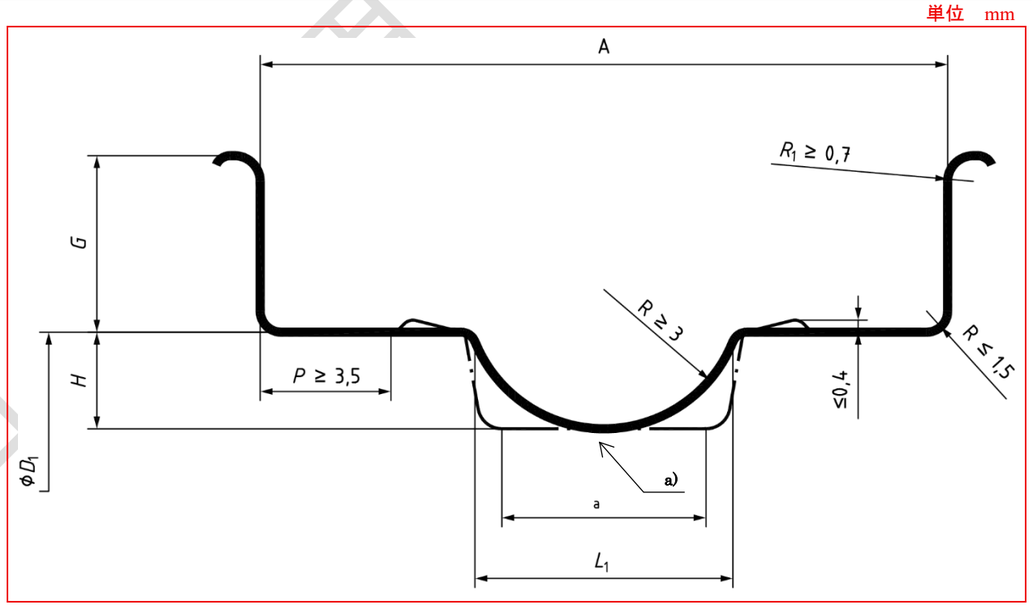
60

7.2.2.2　リム径

チューブレスストレートサイドタイプリムの公称リム径の記号及び測定リム径 D_1（測定方法の詳細に関しては，**附属書 A** 参照）は，**表 4** による。測定リム径 D_1 は**図 3** 及び**表 4** による。

61

単位　mm



記号説明

A：リム幅

D_1：測定リム径（ビードシート径に対応する）

G：フランジ高さ

H：最大ウェル深さ（リムベース保護材を含み，障害物がない）

L_1：ウェル幅（リムベース保護材を含む）

P：ビードシート幅

注記　ビードシートは，ホイールアセンブリの回転軸と平行でなければならないとされている。

注 a)　各タイヤのビード部に対応し，リムの中心から外れた位置に複数のリムウェルがあってもよい。

図 3－チューブレスストレートサイドタイプリム

62

表 3－チューブレスストレートサイドタイプリムの寸法

単位　mm

公称リム幅の記号	寸法				
	A	G a)	H a)		L_1
	±0.5	±0.5	最小	最大	最小
19TSS	19	6	2.9	3.5	7
20TSS	20	6	2.9	3.5	7
...	...	6	2.9	3.5	7
100TSS	100	6	2.9	3.5	7

注 a)　比率 $G/H < 1.9$ を推奨する。

63

表 4－チューブレスストレートサイドタイプリム及びチューブレスクロチェットタイプリムの測定リム径

パブリックコメント

単位　mm

公称リム径の記号	測定リム径 D_1 ±0.5
559	559
584	584.1
622	621.95

64

7.2.3　クロチェットタイプリム

65

7.2.3.1　リム断面における各部の寸法及び形状

クロチェットタイプリムの寸法及び許容差は，**図 4** 及び**表 5** による。

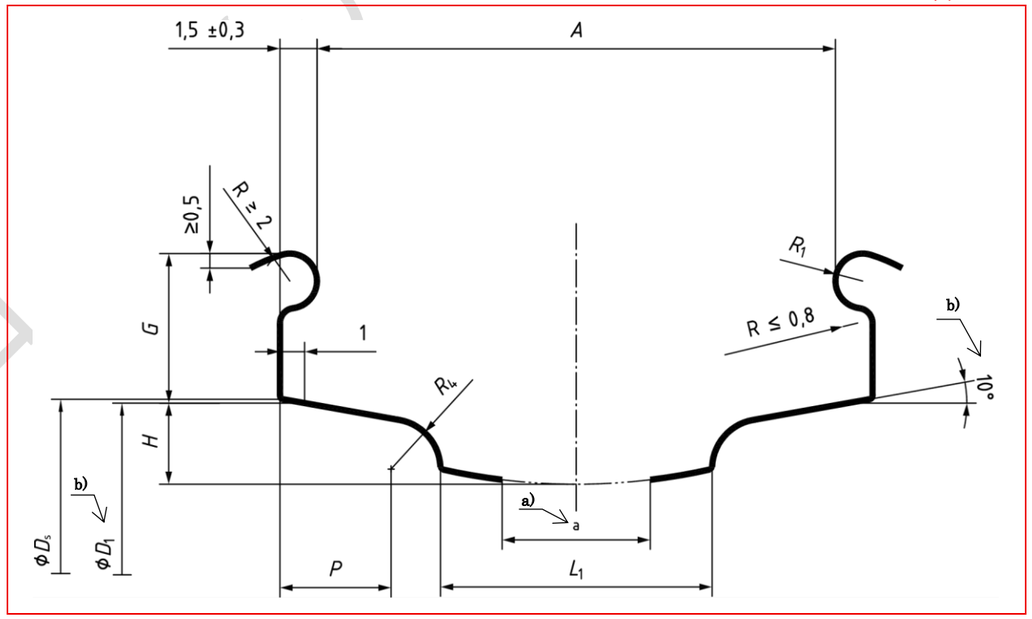
66

7.2.3.2　リム径

クロチェットタイプリムの公称リム径の記号，規定リム径 D_s 及び測定リム径 D_1（測定方法の詳細に関しては，**附属書 A** 参照）は，**図 4** 及び**表 2** による。

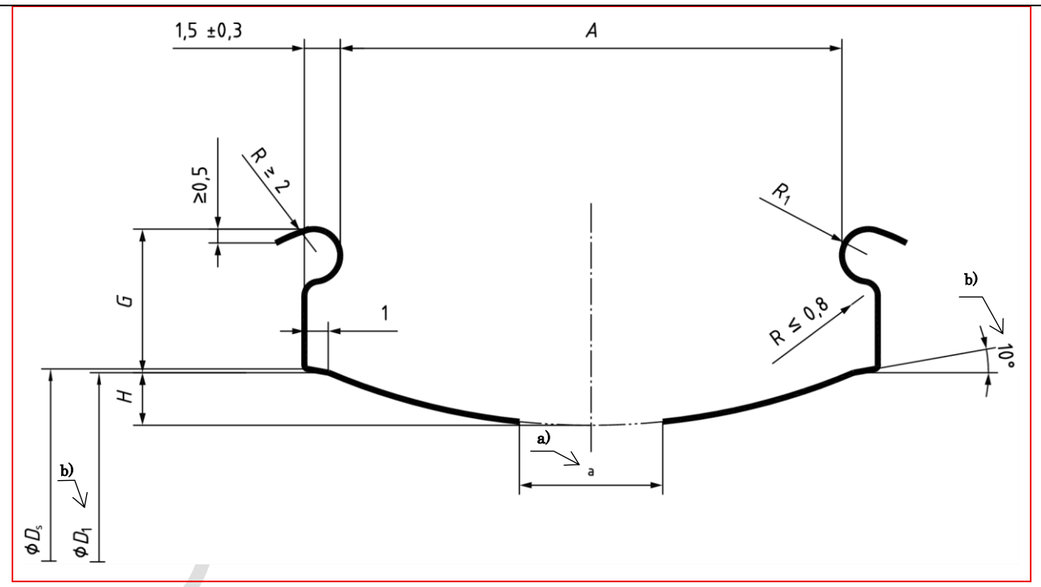
67

単位　mm



a）選択肢 1

パブリックコメント



b）選択肢 2

記号説明

A：リム幅
a：バルブ穴
D_s：規定リム径
D_1：測定リム径（ビードシート径に対応する）
G：フランジ高さ
H：最大ウェル深さ（リムベース保護材を含み，障害物がない）
L_1：ウェル幅（リムベース保護材を含む）
P：ビードシート幅
R_4：ウェル上部半径

注記　バルブ穴径は **7.4** を参照。

注 a)　バルブ穴は 6.2　+0.3/0 。公称リム幅の記号が 17C 以上では，8.3　+0.3/0 のバルブ穴が許容される。

注 b)　測定リム径 D_1 については**表 4** を参照。

図 4－クロチェットタイプリム

68

表 5－クロチェットタイプリムの寸法

単位　mm

公称リム幅の記号	A	G	H		L_1	P	R_1		R_4
	±0.5	±0.5	最小	最大	最小	最小			最小
13C	13	5.5	2.2	5.5	—	2.5	0.9	±0.1	—
15C	15	5.5	2.2	5.5	9	2.5	0.9	±0.1	1.5
17C	17	6	2.2	6	10	2.5	1.1	±0.25	1.5
19C	19	6	2.2	6	11	3	1.1	±0.25	1.5
21C	21	6	2.2	6	11	3	1.1	±0.25	2
23C	23	6.5	3.5	6.5	11	3	1.1	±0.25	2.5
25C	25	6.5	3.5	6.5	14	3	1.1	±0.25	2.5
27C	27	6.5	3.5	6.5	14	3	1.1	±0.25	2.5
29C	29	6.5	3.5	6.5	14	3	1.1	±0.25	2.5

69

7.2.4　チューブレスクロチェットタイプリム

70

7.2.4.1　リム断面における各部の寸法及び形状

チューブレスクロチェットタイプリムの寸法及び許容差は，**図 5** 及び**表 6** による。

パブリックコメント

“チューブレス”又は“チューブレスレディ”と表示されているタイヤは，チューブなしで使用可能である。“チューブレス”又は“チューブレスレディ”の表示がないタイヤは，チューブを取り付けて使用しなければならない。

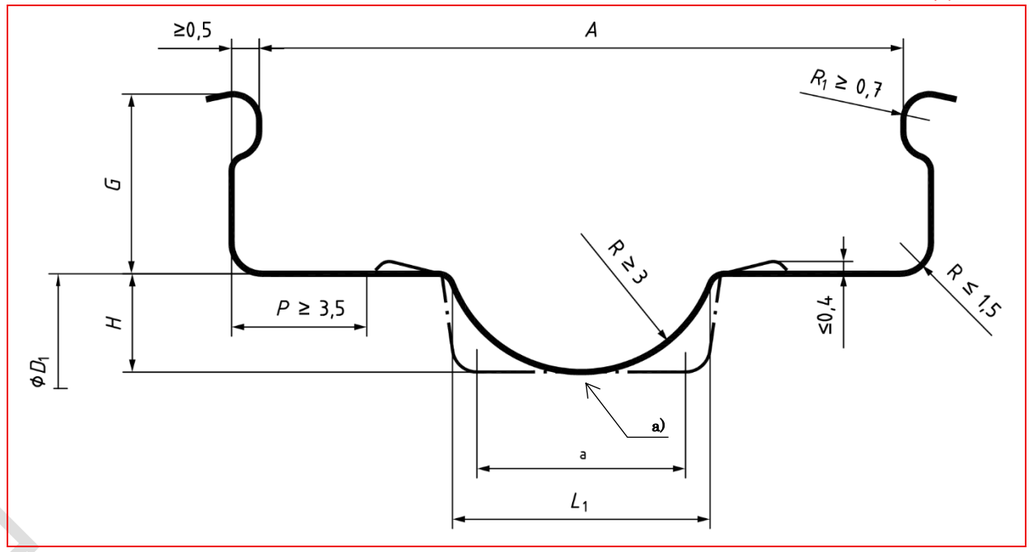
71

7.2.4.2　リム径

チューブレスクロチェットタイプリムの公称リム径の記号及び測定リム径 D_1（測定方法の詳細に関しては，**附属書 A** 参照）は，**図 5** 及び**表 4** による。

72

単位　mm



記号説明

A：リム幅

D_1：測定リム径（ビードシート径に対応する）

G：フランジ高さ

H：最大ウェル深さ（リムベース保護材を含み，障害物がない）

L_1：ウェル幅（リムベース保護材を含む）

P：ビードシート幅

注記　ビードシートは，ホイールアセンブリの回転軸と平行でなければならないとされている。

注 a)　各タイヤのビード部に対応し，リムの中心から外れた位置に複数のリムウェルがあってもよい。

図 5－チューブレスクロチェットタイプリム

73

表 6－チューブレスクロチェットタイプリムの寸法

単位　mm

公称リム幅の記号	寸法				
	A	G a)	H a)		L_1
	±0.5	±0.5	最小	最大	最小
17TC	17	5.5	2.6	3.4	7
18TC	18	5.5	2.6	3.4	7
...	...	5.5	2.6	3.4	7
100TC	100	5.5	2.6	3.4	7

注 a)　比率 $G/H < 1.9$ を推奨する。

74

7.2.5　ワイヤードオンリム

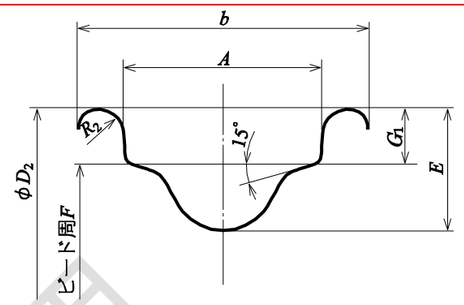
表 7 にワイヤードオンリムの寸法を示す。

75

表 7－ワイヤードオンリム

パブリックコメント

単位　mm



形式	リムの呼び（径の呼び×幅の呼び）	リムの呼び径	b	A		D_2	E		F		G_1	R_2	スポーク穴の数（参考）
WO-2	16×1 3/8	349	28 又は 26	20.3	±0.8	362	11.6	±0.8	1 097	±2	6.3	2	20
	18×1 3/8	400				413			1 257				28
	20×1 3/8	451				464			1 416				
	22×1 3/8	501				514			1 575				
	24×1 3/8	540				552			1 695				36
	26×1 1/2	584				597			1 835				
	26×1 3/8	590				603			1 854				
	26×1 1/4	597				610			1 876				
	27×1 3/8	630				643			1 978				
	27×1 1/4												
	28×1 1/2	635				647			1 994				
	28×1 3/8	642				655			2 016				
WO-3	16×1 3/8	349	32.5	22.5		362	14.1		1 097				20
	18×1 3/8	400				413			1 257				28
	20×1 3/8	451				464			1 416				
	22×1 3/8	501				514			1 575				
	24×1 3/8	540				552			1 695				36
	25×1 3/8	565				578			1 775				
	26×1 1/2	584				597			1 835				
	26×1 3/8	590				603			1 854				
WO-4	26×1 1/4	597	23	16.5		610	10.8		1 876			1.6	
	27×1 1/4	630				643			1 978				
	700C	622				635			1 955				
WO-5	20×1 3/8	451	28 又は 26	20.3		464	12.6		1 416			2	28
	22×1 3/8	501				514			1 575				
	24×1 3/8	540				552			1 695				36
	25×1 3/8	565				578			1 775				
	26×1 3/8	590				603			1 854				

記号説明

b：リム外幅

A：リム幅

D_2：リム外径

E：リム高さ

G_1：ビードフランジ高さ

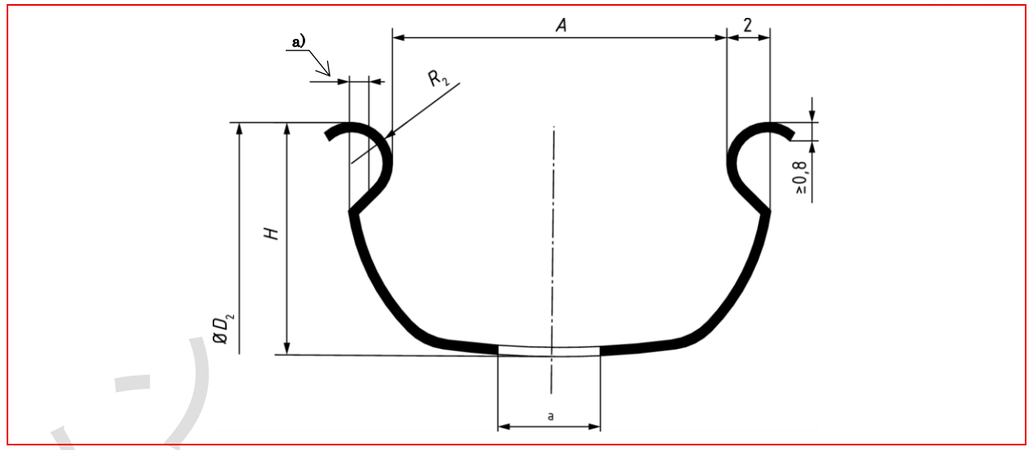
R_2：フランジ半径

注記　ビード周 F（ビードシート円周）の測定方法については，**附属書 A** を参照。

76　**7.2.6　フックドビードリム**

77　**7.2.6.1　リム断面における各部の寸法及び形状**

パブリックコメント用

		フックドビードリムの寸法及び許容差は，**図 6** 及び**表 8** による。
78		**7.2.6.2　リム径及びリム外周** フックドビードリムの公称リム径の記号，規定リム径 D_s 及び規定リム外周 πD_s［リム外周（ビードシート円周）の測定の詳細に関しては，**附属書 A** 参照］は，**表 9** による。
79		単位　mm  **記号説明** A：リム幅 a：バルブ穴 D_2：リム外径 H：最大ウェル深さ（リムベース保護材を含み，障害物がない） **注 a)**　任意の開口部は 1 mm を超えないようにする。 **図 6－フックドビードリム**
80		**表 8－フックドビードリムの寸法** 単位　mm 公称リム幅の記号 ／ A ±1 ／ H 最小 ／ R_2 ±0.5 ／ R_7 最小 20 ／ 20 ／ 13 ／ 2 ／ 30 25 ／ 25 ／ 14 ／ 2 ／ 50 27 ／ 27 ／ 15 ／ 2 ／ 70
81		**表 9－フックドビードリムの規定リム径及び規定リム外周** 単位　mm 公称リム径の記号 a) ／ 規定リム径 D_s ／ 規定リム外周 πD_s ±2.5 HB270 ／ 269.9 ／ 847.9 HB321 ／ 320.7 ／ 1 007.5 HB372 ／ 371.5 ／ 1 167.1 HB422 ／ 422.3 ／ 1 326.7 HB459 ／ 458.8 ／ 1 441.4 HB473 ／ 473.1 ／ 1 486.3 HB510 ／ 509.6 ／ 1 601 HB524 ／ 523.9 ／ 1 645.9 HB560 ／ 560.4 ／ 1 760.6 HB575 ／ 574.7 ／ 1 805.5 HB611 ／ 611.2 ／ 1 920.1 **注 a)**　“HB”はフックドビードリムを意味し，“HB”の後に続く数字はリム径の記号を意味する。

パブリックコメント

82

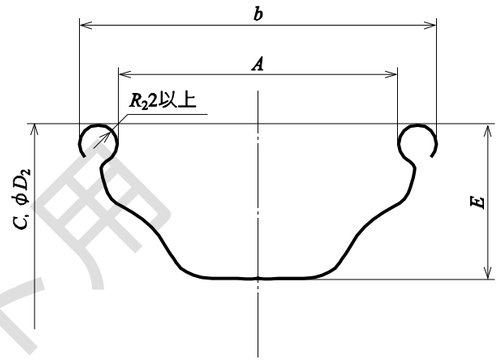
7.2.7　フックドエッジリム

表 10 にフックドエッジリムの寸法を示す。

83

表 10－フックドエッジリム

単位　mm



形式	リムの呼び（径の呼び×幅の呼び）	リムの呼び径	b	A		C		D_2	E		スポーク穴の数（参考）
HE-1	$12^{1}/_{2}\times2^{1}/_{4}$	－	33	25	±0.8	691	±3	220	14.8	±0.8	20
	14×1.75	HB270				848		270			
	16×1.75	HB321				1 007		321			20 又は 28
	18×1.75	HB372				1 167		371			28
	20×1.75	HB422				1 327		422			
	22×1.75	HB473				1 486		473			
	24×1.75	HB524				1 646		524			36
	26×1.75	HB575				1 805		575			
HE-5	14×1.50	HB270	28	20		848		270	14.0		20
	16×1.50	HB321				1 007		321			20 又は 28
	18×1.50	HB372				1 167		371			28
	20×1.50	HB422				1 327		422			
	22×1.50	HB473				1 486		473			

記号説明

b：リム外幅
A：リム幅
C：外周
D_2：リム外径
E：リム高さ
R_2：フランジ半径

84

7.2.8　運搬車用ビーデッドエッジリム

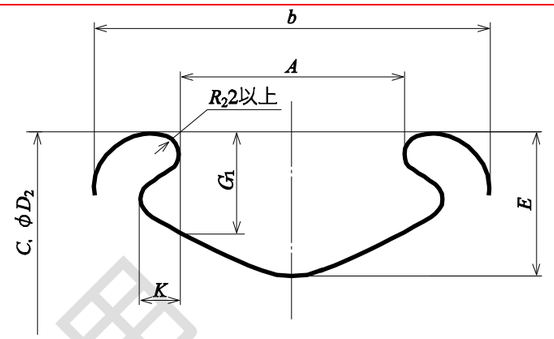
表 11 に運搬車用ビーデッドエッジリムの寸法を示す。

85

表 11－運搬車用ビーデッドエッジリム

パブリックコメント用

単位　mm



形式	リムの呼び（径の呼び×幅の呼び）	b	A		C		D2	E		G1	K	スポーク穴の数（参考）
BE-1	26×1 3/8	40	22.2	±0.8	1 885	±3	600	14.9	±0.8	10.5	4	32 又は 40
	26×1 1/2											
	26×1 3/4	44	25		1 885		600	16.3		11	5	

記号説明

b：リム外幅
A：リム幅
C：外周
D_2：リム外径
E：リム高さ
G_1：ビードフランジ高さ
K：耳の深さ
R_2：フランジ半径

86

b)　リムのスポーク穴径は，**表 2** による。

7.3　リムのスポーク穴径

リムのスポーク穴径は，**表 12** による。チューブレスストレートサイドタイプリム，チューブレスクロチェットタイプリム及びバトンホイールはこの限りではない。

87

表 2－スポーク穴径

単位　mm

スポーク径の呼び（**JIS D 9420**）	スポーク穴径		ニップル径（参考）（**JIS D 9420**）	
No.12	5.0	＋0.2 0	4.6	＋0.2 0
No.13	4.7		4.3	
No.13，No.14 又は No.15	4.4 a)		4.0	

注 a)　径の呼びが 20 未満，又はリムの呼び径が 422 未満でスポーク径の呼びが No.14 の場合には，スポーク穴径 4.4 を 4.5 にすることが望ましい。

表 12－スポーク穴径

単位　mm

スポーク径の呼び（**JIS D 9420**）	スポーク穴径		ニップル径（参考）（**JIS D 9420**）	
No.12	5.0	＋0.2 0	4.6	＋0.2 0
No.13	4.7		4.3	
No.13，No.14 又は No.15	4.4 a)		4.0	

注 a)　径の呼びが 20 未満，又は，リムの呼び径又は公称リム径の記号が 422 未満でスポーク径の呼びが No.14 の場合には，スポーク穴径 4.4 を 4.5 にすることが望ましい。

88

c)　リムのバルブ穴径は，タイヤバルブの種類別に**表 3** による。

7.4 リムのバルブ穴径

リムのバルブ穴径は，タイヤバルブの種類別に**表 13** による。

89

表 3－バルブ穴径の種類

単位　mm

タイヤバルブの種類（**JIS D 9422**）		バルブ穴径	
英式バルブ	VEM，VER	8.2	±0.1
米式バルブ a)	VAM	8.2	
	VAR	8.7	
仏式バルブ	VFM，VFR	6.3	

表 13－バルブ穴径の種類

単位　mm

タイヤバルブの種類（**JIS D 9422**）		バルブ穴径	
英式バルブ	VEM，VER	8.3	+0.3 0
米式バルブ a)	VAM	8.3	
	VAR	8.7	
仏式バルブ	VFM，VFR	6.2	

注 a)　米式バルブで，ボディー径が 8 mm のバルブは，バルブ穴径 8.3 mm に使用できる。

パブリックコメント用

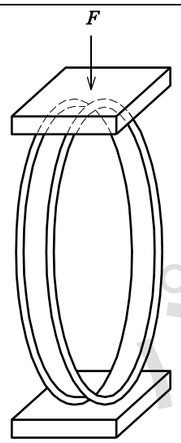
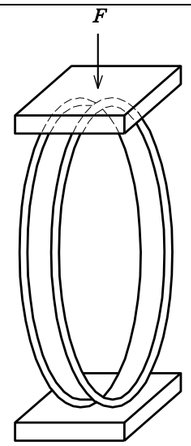
<table>
<tr><td></td><td>注 a) 米式バルブで，ボディー径が 8 mm のバルブは，バルブ穴径 8.2 mm に使用できる。</td><td></td></tr>
<tr><td>90</td><td></td><td>7.5　その他の寸法</td></tr>
<tr><td>91</td><td>d)　スポーク穴のピッチの差は，2 mm 以下とする。</td><td>a)　スポーク穴のピッチの差は，2 mm 以下とする。</td></tr>
<tr><td>92</td><td>e)　リム直径寸法の差（直径ひずみ）は，スポーク穴 2 ピッチ相当間隔で任意の 2 か所を測定したとき 1 mm 以下とする。</td><td>b)　リム径の寸法の差（直径変形）は，スポーク穴 2 ピッチ相当間隔で任意の 2 か所を測定したとき 1 mm 以下とする。</td></tr>
<tr><td>93</td><td>f)　リムの平面ひずみは，スポーク穴 2 ピッチ相当間隔で任意の箇所を測定したとき，0.3 mm 以下とする。</td><td>c)　リムの平面変形は，スポーク穴 2 ピッチ相当間隔で任意の箇所を測定したとき，0.3 mm 以下とする。</td></tr>
<tr><td>94</td><td>6　品質</td><td>8　品質</td></tr>
<tr><td>95</td><td>6.1　外観
リムの外観は，次による。</td><td>8.1　外観
リムの外観は，次による。</td></tr>
<tr><td>96</td><td>a)　めっき及び装飾加工を施した面には，素地の露出，はがれ，さび，その他の著しい欠点があってはならない。</td><td>a)　めっき及び装飾加工を施した面には，素地の露出，はがれ，さび，その他の著しい欠点があってはならない。</td></tr>
<tr><td>97</td><td>なお，車輪に組み立てた後，表面に現れる部分には，著しいめっきむらがあってはならない。</td><td>なお，車輪に組み立てた後，表面に現れる部分には，著しい めっきむら があってはならない。</td></tr>
<tr><td>98</td><td>b)　めっき及び装飾加工を施さない仕上げ面には，さび，割れ，著しいすりきず，その他の欠点があってはならない。</td><td>b)　めっき及び装飾加工を施さない仕上げ面には，さび，割れ，著しい すりきず，その他の欠点があってはならない。</td></tr>
<tr><td>99</td><td>c)　マーク類には，打刻不良，位置ずれ，かすれ，色むら，その他の著しい欠点があってはならない。</td><td>c)　マーク類には，打刻不良，位置ずれ，かすれ，色むら，その他の著しい欠点があってはならない。</td></tr>
<tr><td>100</td><td>6.2　めっき
めっきを施したリムのめっき厚さ及び耐食性は，JIS H 8617 に規定する表 2 の等級 3 級以上とする。ただし，車輪に組み立てた後，表面に現れない部分及びめっき後加工を施した部分は除く。</td><td>8.2　めっき
めっきだけを施したリムのめっき厚さ及び耐食性は，JIS H 8617 に規定する表 2（種類，等級及び記号）の等級 3 級以上とする。ただし，車輪に組み立てた後，表面に現れない部分及びめっき後加工を施した部分は除く。</td></tr>
<tr><td>101</td><td>6.3　強度
リムの強度は，7.1 の試験を行ったとき，永久ひずみは 1 mm 以下とする。</td><td>8.3　強度
リムの強度は，9.1 の試験を行ったとき，永久変形は 1 mm 以下とする。</td></tr>
<tr><td>102</td><td>7　試験方法</td><td>9　試験方法</td></tr>
<tr><td>103</td><td>7.1　リムの強度試験
図 2 に示す方法によって中心方向に表 4 の試験力（F）を静かに加えて 2 分間保持した後，力を取り除いたときの力の負荷点での永久ひずみを測定する。</td><td>9.1　リムの強度
図 7 に示す方法によって中心方向に 500 N の試験力 F を静かに加えて 2 分間放置した後，力を取り除いたときの力の負荷点での永久変形を測定する。ただし，表 14 に示す種類，形式かつ公称リム幅の記号（又はリム幅）のリムの試験力は 300 N とする。</td></tr>
<tr><td>104</td><td> 

図 2－リムの強度試験</td><td> 

記号説明
F：試験力
図 7－リムの強度試験</td></tr>
<tr><td>105</td><td>表 4－試験条件
<table><tr><td>種類</td><td>形式</td><td>リムの呼び幅</td><td>試験力
N</td></tr></table></td><td>表 14－試験条件
<table><tr><td>種類</td><td>形式</td><td>公称リム幅の記号
又は</td><td>試験力
N</td></tr></table></td></tr>
</table>

パブリックコメント用

BE リム	BE-1	(22.2)，(25)	500
WO リム又は SS リム	WO-2 WO-3 WO-5 SS	(20.3) (22.5) (20.3) 20，22，24，27，30.5	
	WO-4 SS	(16.5) 18	300
HE リム又は HB リム	HE-1 HE-5 HB	(25) (20) 20，25，27	500
CT リム	CT	19C，21C，23C，25C	
		13C，15C，17C	300

		リム幅 a)	
ワイヤードオンリム又は ストレートサイドタイプリム	WO-4 SS	(16.5) 18	300
クロチェットタイプリム又は チューブレスクロチェットタイプリム	C TC	13C，15C，17C 17TC，18TC	
注 a) ストレートサイドタイプリム，チューブレスストレートサイドタイプリム，クロチェットタイプリム，チューブレスクロチェットタイプリム及びフックドビードリムについては，公称リム幅の記号を参照する。運搬車用ビーデッドエッジリム，ワイヤードオンリム及びフックドエッジリムについては，リム幅を参照する。			

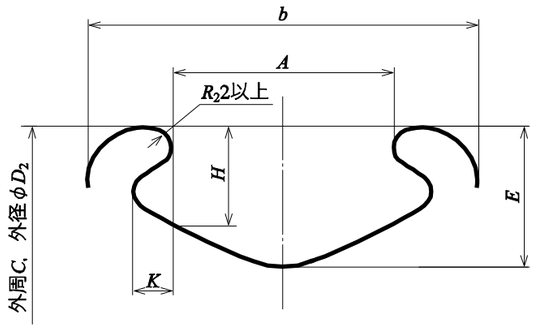
106	**8　製品の呼び方** 製品の呼び方は，次による。	**10　製品の呼び方** 製品の呼び方は，次によることが望ましい。
107		**a)**　リムの種類に関わらず，規格番号（**JIS D 9421**）又は規格の名称による。
108		**c)**　チューブレスストレートサイドタイプリムの場合，公称リム径の記号 及び 公称リム幅の記号（リムの種類を表す記号“TSS”を含む）による。
109		**例 2**　622×25TSS
110		**e)**　チューブレスクロチェットタイプリムの場合，公称リム径の記号 及び 公称リム幅の記号（リムの種類を表す記号“TC”を含む）による。
111		**例 4**　622×25TC
112	**a)**　BE リム，WO リム及び HE リムの場合，規格番号又は“自転車用リム”（名称），リムの呼び及びリムの種類を表す記号による。	**i)**　運搬車用ビーデッドエッジリムの場合，リムに対応するタイヤの呼び（タイヤ外径の呼び×タイヤ幅の呼び） 及び リムの種類を表す記号“BE”による。
113		**例 9**　（自転車－リム）　26×1¾ 4PR BE
114		**f)**　ワイヤードオンリムの場合，次のいずれかによる。
115		**1)**　リムに対応するタイヤの呼び（タイヤ幅の公称値－公称リム径）及びリムの種類を表す記号“WO”
116	**例 1　JIS D 9421**　26×1⅜ WO	
117	**例 2**　自転車用リム　26×1⅜ WO	**例 5**　（自転車－リム）　37－590WO
118		**2)**　リムに対応するタイヤの呼び（タイヤ幅の公称値－公称リム径），リムの呼び（径の呼び×幅の呼び）及びリムの種類を表す記号“WO”
119		**例 6**　37－590　26×1⅜WO
120		**h)**　フックドエッジリムの場合，リムに対応するタイヤの呼び（タイヤ外径の記号×タイヤ幅の公称値の記号）及び リムの種類を表す記号“HE”による。
121		**例 8**（自転車－リム）　16×1.50HE
122	**b)**　SS リム及び HB リムの場合，規格番号又は“自転車用リム”（名称），リムの種類を表す記号，リムの呼び径及びリムの呼び幅による。	**b)**　ストレートサイドタイプリムの場合，公称リム径の記号，公称リム幅の記号，リムの種類を表す記号“SS”による。
123	**例 1　JIS D 9421**　SS 349×20	
124	**例 2**　自転車用リム　SS 349×20	
125		**例 1**　400×20SS
126		**g)**　フックドビードリムの場合，公称リム径の記号（リムの種類を表す記号“HB”を含む） 及び 公称リム幅の記号による。
127		**例 7**　HB422×25
128	**c)**　CT リムの場合，規格番号又は“自転車用リム”（名称），リムの呼び径，リムの呼び幅及び CT リムであることを示す“C”による。	**d)**　クロチェットタイプリムの場合，公称リム径の記号 及び 公称リム幅の記号（リムの種類を表す記号“C”を含む）による。
129		
130	**例 1　JIS D 9421**　622×13C	
131	**例 2**　自転車用リム　622×13C	

パブリックコメント用

132		**例 3**　622×13C
133	**9　表示**	**11　表示**
134		**11.1　一般** 表示方法は **11.2**，表示事項は **11.3** による。
135	リムには，リムの表面に刻印，ラベルを付けるなどの容易に消えない方法で，次の事項を表示する。	**11.2　表示方法** リムには，リムの表面に刻印，ラベルを付けるなどの容易に消えない方法で，**11.3** の事項を表示する。包装及び添付文書に，**11.3** の事項を表示してもよい。
136		**注記　11.3** の事項のリムへの表示の順番は任意である。
137		**11.3　表示事項** リムには，リムの種類に関わらず，次の **a)**及び **b)**の事項を表示する。また，リムの種類に応じて次の **c)**から **j)** のいずれかを表示する。
138	**a)**　製造業者名又はその略号	**a)**　製造業者名又はその略号
139	**b)**　製造年月又はその略号	**b)**　製造年月又はその略号
140	**c)**　リムの呼び（SS リム，HB リム及び CT リムの場合は，リムの呼び径及びリムの呼び幅）	
141	**d)**　種類を表す記号（ただし，CT リムの場合は C と表示する。）	
142		**c)**　ストレートサイドタイプリムの場合，公称リム径の記号，公称リム幅の記号 及び リムの種類を表す記号
143		**例 1**　400×20SS
144		**d)**　チューブレスストレートサイドタイプリムの場合，公称リム径の記号 及び 公称リム幅の記号（リムの種類を表す記号“TSS”を含む）
145		**例 2**　622×25TSS
146		**e)**　クロチェットタイプリムの場合，公称リム径の記号 及び 公称リム幅の記号（リムの種類を表す記号“C”を含む）
147		**例 3**　622×13C
148		**f)**　チューブレスクロチェットタイプリムの場合，公称リム径の記号 及び 公称リム幅の記号（リムの種類を表す記号“TC”を含む）
149		**例 4**　622×25TC
150		**g)**　ワイヤードオンリムの場合，次の **1)**又は **2)**のいずれかの事項を表示する。
151		**1)**　“タイヤ幅の公称値 及び 公称リム径”及び“リムの種類を表す記号”
152		**例 5**　37－590WO
153		**2)**　“タイヤ幅の公称値 及び 公称リム径”，“径の呼び 及び 幅の呼び”及び“リムの種類を表す記号”
154		**例 6**　37－590　26×1⅜WO
155		**h)**　フックドビードリムの場合，公称リム径の記号（リムの種類を表す記号“HB”を含む） 及び 公称リム幅の記号
156		**例 7**　HB422×25
157		**i)**　フックドエッジリムの場合，タイヤ外径の記号，タイヤ幅の公称値の記号 及び リムの種類を表す記号
158		**例 8**　16×1.50HE
159		**j)**　運搬車用ビーデッドエッジリムの場合，タイヤ外径の呼び，タイヤ幅の呼び 及び リムの種類を表す記号
160		**例 9**　26×1¾ 4PR BE
161	**表 5－BE リム**	

パブリックコメント用

単位　mm



記号	リム各部の名称
b	リム外幅
A	規定リム幅
C	外周
D_2	リム外径
E	リム高さ
H	ビードフランジ高さ
K	耳の深さ
R_2	フランジ半径

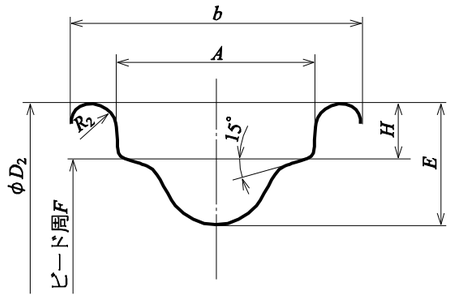
形式	リムの呼び（径の呼び×幅の呼び）	b	A		C		D_2	E		H	K	スポーク穴の数（参考）
BE-1	26×1 3/8	40	22.2	±0.8	1 885	±3	600	14.9	±0.8	10.5	4	32 又は 40
	26×1 1/2											
	26×1 3/4	44	25		1 885		600	16.3		11	5	

162

表 6－WO リム又は SS リム

単位　mm

a)　WO リム



記号	リム各部の名称
b	リム外幅
A	規定リム幅
D_2	リム外径
E	リム高さ
H	ビードフランジ高さ
R_2	フランジ半径

形式	リムの呼び（径の呼び×幅の呼び）	リムの呼び径	b	A		D_2	E		F		H	R_2	スポーク穴の数（参考）
WO-2	16×1 3/8	349	28 又は 26	20.3	±0.8	362	11.6	±0.8	1 097	±2	6.3	2	20
	18×1 3/8	400				413			1 257				28
	20×1 3/8	451				464			1 416				
	22×1 3/8	501				514			1 575				
	24×1 3/8	540				552			1 695				36
	26×1 1/2	584				597			1 835				
	26×1 3/8	590				603			1 854				
	26×1 1/4	597				610			1 876				
	27×1 3/8	630				643			1 978				
	27×1 1/4												
	28×1 1/2	635				647			1 994				
	28×1 3/8	642				655			2 016				
WO-3	16×1 3/8	349	32.5	22.5		362	14.1		1 097				20

パブリックコメント用

	18×1 3/8	400				413			1 257				28
	20×1 3/8	451				464			1 416				
	22×1 3/8	501				514			1 575				
	24×1 3/8	540				552			1 695				36
	25×1 3/8	565				578			1 775				
	26×1 1/2	584				597			1 835				
	26×1 3/8	590				603			1 854				
WO-4	26×1 1/4	597	23	16.5		610	10.8		1 876			1.6	
	27×1 1/4	630				643			1 978				
	700C	622				635			1 955				
WO-5	20×1 3/8	451	28 又は 26	20.3		464	12.6		1 416			2	28
	22×1 3/8	501				514			1 575				
	24×1 3/8	540				552			1 695				36
	25×1 3/8	565				578			1 775				
	26×1 3/8	590				603			1 854				

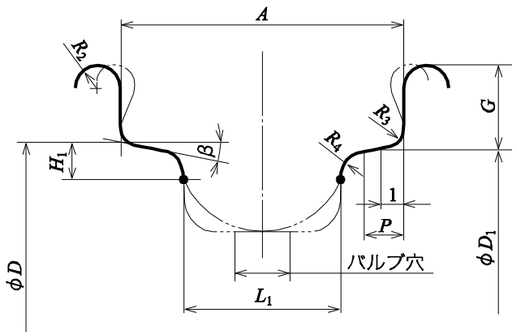
注記　ビード周 F の測定方法を，**附属書 A** に示す。

163

表 6－WO リム又は SS リム（続き）

単位　mm

b)　SS リム



記号	リム各部の名称
A	規定リム幅
D	規定リム径
D_1	測定リム径
G	フランジ高さ
P	ビードシート幅
H_1	リムバンドを取り付けたときの，リムベース上のタイヤ装着最小自由深さ
L_1	リムバンド面上のウエル幅
R_2	フランジ半径
R_3	ビードシート半径
R_4	ウエル上部半径
β	ビードシート角度

リムの呼び幅	A	G	P	H_1 a) b)	L_1 b)	R_2	R_3	R_4	β c)
	±1	±0.5	最小	最小	最小	最小	最大	最小	±5°
18 d)	18	6.5	1.8	1.8	10	1.5	1	1.5	10°
20	20	6.5	2	2	11	1.8	1	1.5	10°

パブリックコメント用

22	22	6.5	2.2	3	11	1.8	1	2	10°
24	24	7	3	3	11	2	1	2.5	10°
27	27	7.5	3.5	3.5	14	2.5	1	2.5	10°
30.5	30.5	8	3.5	3.5	14	2.5	1	2.5	10°

注 a) リム径が 400 mm 以下のものは，深さ H_1 に 1 mm を加える。

b) H_1 及び L_1 の寸法は，リムバンドを取り付けたときの，リムベースとニップル頭部上におけるタイヤ装着可能スペースとして定める。リムの実際のウエル深さは，上記の目的を達成させるために，リム製造業者の判断による。

c) リムの呼び径が，400 mm 以下の SS リムは，β=15° ±10° とする。

d) A の許容差は，$^{0}_{-1}$ とする。

164

表 7－SS リムの規定リム径及び測定リム径

単位 mm

リムの呼び径	規定リム径 D	測定リム径 a) D_1	リムの呼び径	規定リム径 D	測定リム径 a) D_1
194	194.2	193.85	438	437.7	437.35
203	203.2	202.85	440	439.9	439.55
222	222.2	221.85	451	450.8	450.45
239	239.4	239.05	484	484	483.65
248	247.6	247.25	489	488.6	488.25
251	250.8	250.45	490	490.2	489.85
279	279.2	278.85	498	497.5	497.15
288	287.8	287.45	501	501.3	500.95
298	298.4	298.05	507	507.3	506.95
305	304.7	304.35	520	520.2	519.85
317	317	316.65	531	530.6	530.25
330	329.8	329.45	534	533.5	533.15
337	336.6	336.25	540	539.6	539.25
340	339.6	339.25	541	540.8	540.45
349	349.2	348.85	547	546.5	546.15
355	355	354.65	559	558.8	558.45
357	357.1	356.75	565	564.9	564.55
369	368.6	368.25	571	571	570.65
381	380.9	380.55	584	583.9	583.55
387	387.1	386.75	590	590.2	589.85
390	389.6	389.25	597	597.2	596.85
400	400.1	399.75	609	609.2	608.85
406	405.6	405.25	622	622.3	621.95
419	418.6	418.25	630	629.7	629.35
428	428.1	427.75	635	634.7	634.35
432	431.6	431.25	642	641.7	641.35

注記 リムの呼び幅とリムの呼び径との組合せは，**ISO 5775-1** を参考にして組み合わせるとよい。

注 a) ビードシートの円周（π×測定リム径）を測定したときの許容差は，±1.5 mm。

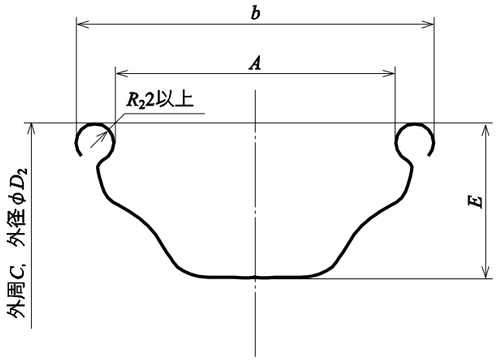
165

表 8－HE リム又は HB リム

単位 mm

a) HE リム

ドキュメント用



記号	リム各部の名称
b	リム外幅
A	規定リム幅
C	外周
D_2	リム外径
E	リム高さ
R_2	フランジ半径

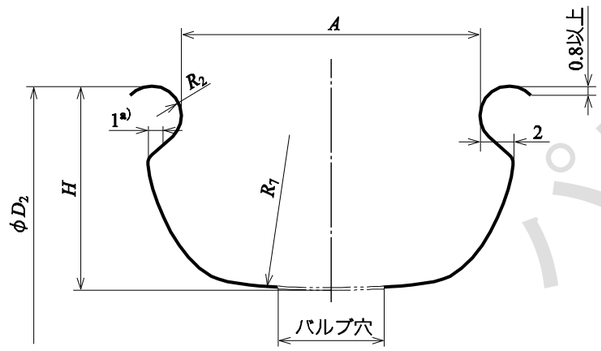
形式	リムの呼び（径の呼び×幅の呼び）	リムの呼び径	b	A		C		D_2	E		スポーク穴の数（参考）
HE-1	$12^1/_2 \times 2^1/_4$	－	33	25	±0.8	691	±3	220	14.8	±0.8	20
	14×1.75	HB 270				848		270			
	16×1.75	HB 321				1 007		321			20 又は 28
	18×1.75	HB 372				1 167		371			28
	20×1.75	HB 422				1 327		422			
	22×1.75	HB 473				1 486		473			
	24×1.75	HB 524				1 646		524			36
	26×1.75	HB 575				1 805		575			
HE-5	14×1.50	HB 270	28	20		848		270	14.0		20
	16×1.50	HB 321				1 007		321			20 又は 28
	18×1.50	HB 372				1 167		371			28
	20×1.50	HB 422				1 327		422			
	22×1.50	HB 473				1 486		473			

パブリックコメント用

表 8－HE リム又は HB リム（続き）

単位　mm

b)　HB リム



記号	リム各部の名称
A	規定リム幅
D_2	リム外径
H	ビードフランジ高さ
R_2	フランジ半径
R_7	ウエル半径

注 a)　自由すき間は，1 mm を超えてはならない。

リムの呼び幅	A	H	R_2	R_7
	±1	最小	±0.5	最小
20	20	13	2	30

25	25	14	2	50
27	27	15	2	70

HB リムの規定リム径及び外周

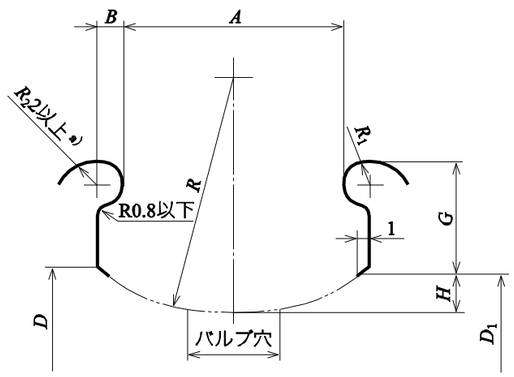
リムの呼び径	規定リム径 D	測定リム外周 πD ±2.5
270	269.9	847.9
321	320.7	1 007.5
372	371.5	1 167.1
422	422.3	1 326.7
459	458.8	1 441.4
473	473.1	1 486.3
510	509.6	1 601
524	523.9	1 645.9
560	560.4	1 760.6
575	574.7	1 805.5
611	611.2	1 920.1

注記 リムの呼び幅とリムの呼び径との組合せは，**ISO 5775-1** を参考にして組み合わせるとよい。

167

表 9－CT リム

単位 mm



記号	リム各部の名称
A	規定リム幅
B	フック幅
D	規定リム径
D_1	測定リム径
G	フランジ高さ
H	ビードフランジ高さ
R_1	クロチェット半径
R_2	フランジ半径

注 a) $R_2$2 以上は，タイヤをきずつけないように，滑らかで損傷の原因にならない表面とする。

リムの呼び幅	A ±0.5	B ±0.3	G ±0.5	H b) 以上	R_1 b)
13C	13	1.5	5.5	2.2	0.9±0.1
15C	15				
17C	17				$1.1^{+0.2}_{-0.1}$
19C	19		6.5	3.5	
21C	21				
23C	23			4.5	
25C	25				

ドラフトコメント用

<table>
<tr><td></td><td>

注記　リムの呼び径は，SS リムの**表 7** による。
注 [b)]　H 及び R_1 の寸法は，リムバンドを取り付けた状態で，クロチェット形リムにタイヤを確実にはめ込むためのリムベース及びニップルヘッド上の邪魔されない最小空間を定義する。

</td><td></td></tr>
<tr><td>168</td><td>

附属書 A
（参考）
自転車用リムの測定方法（例）

</td><td>

附属書 A
（参考）
自転車用リムの寸法の測定方法

</td></tr>
<tr><td>169</td><td>

序文
この附属書は，本体に関連する事項を補足するもので，規定の一部ではない。

</td><td></td></tr>
<tr><td>170</td><td>

A.1　目的
この附属書は，SS リム，HB リム，CT リム及び WO リムの寸法測定及びゲージ測定の方法について示す。

</td><td>

A.1　目的
この附属書には，自転車用のストレートサイドタイプリム，チューブレスストレートサイドタイプリム，フックドビードリム，クロチェットタイプリム及びチューブレスクロチェットタイプリムの寸法の測定方法の一例を示す。

</td></tr>
<tr><td>171</td><td>

注記　**表 6** の WO リムのビード周 F は，**表 A.1** に示す断面寸法のバンドゲージを用いて測定する。

</td><td></td></tr>
<tr><td>172</td><td>

表 A.1－バンドゲージ寸法
単位　mm

<table>
<tr><th rowspan="2">リムの内幅 A</th><th colspan="3">バンドゲージの断面寸法</th></tr>
<tr><th colspan="2">幅</th><th>厚さ</th></tr>
<tr><td>16.5</td><td>15.3</td><td rowspan="3">±0.3</td><td rowspan="3">0.30±0.05</td></tr>
<tr><td>20.3</td><td>19.1</td></tr>
<tr><td>22.5</td><td>21.3</td></tr>
</table>

</td><td></td></tr>
<tr><td>173</td><td>

A.2　概要

</td><td>

A.2　一般

</td></tr>
<tr><td>174</td><td>

測定は，すべてタイヤに取付けできる状態のリムを平たんな面に置いて行う。測定の精度を得るため，スチール製メジャー及びバンドゲージ（**ISO 5775-2** では tape と呼称）は，常に両方のビードシート部でリムフランジに垂直に押し当てる。

</td><td>

リムの測定は，タイヤの取付準備が整った状態で，リム製造業者が推奨するスポーク張力及びリムベース保護材を施したホイールアセンブリに対して行うものとする。正確な測定のために，ゲージは常に両方のビードシートにおいてリムのフランジに対して垂直に設置しなければならず，テープは常に両方のビードシート及びビードバンプに接触しなければならない。
リムがリムベース保護材を必要とし，かつ，リムベース保護材がリム製造業者によって指定されていない場合，リムベース保護材は，ビードシートからビードシートまでのタイヤ側面の輪郭を，厚さ 0.15 mm で覆うものとみなされる。

</td></tr>
<tr><td>175</td><td>

A.3　スチール製メジャーによって測定するリムの主な寸法
スチール製メジャーによって測定するリムの主な寸法を**図 A.1**，**図 A.2** 及び**図 A.3** に示す。

</td><td>

A.3　測定及びゲージ測定される主なリムの寸法
測定及びゲージ測定の対象となる主なリムの寸法は，**図 2** から**図 6** による。

</td></tr>
</table>

パブリックコメント用

176

単位　mm

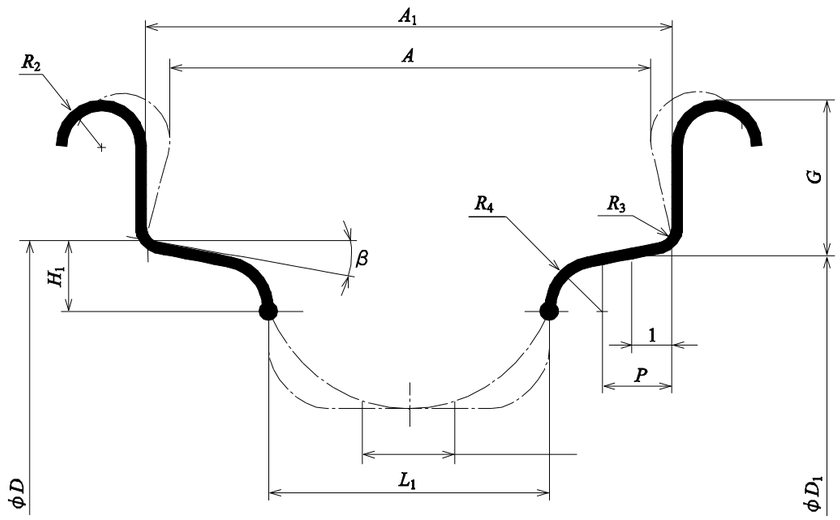


図 A.1－SS リム

177

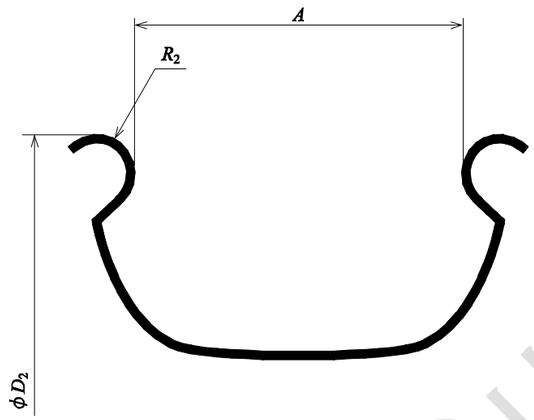
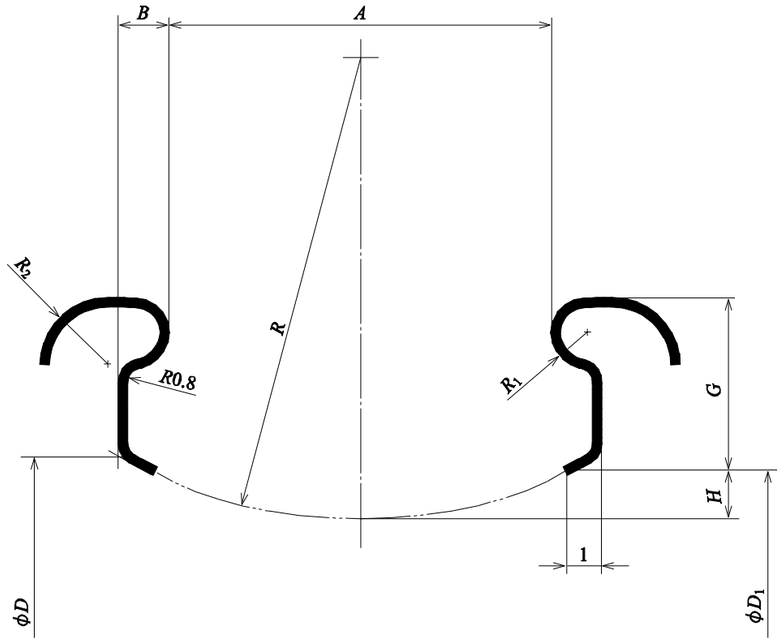


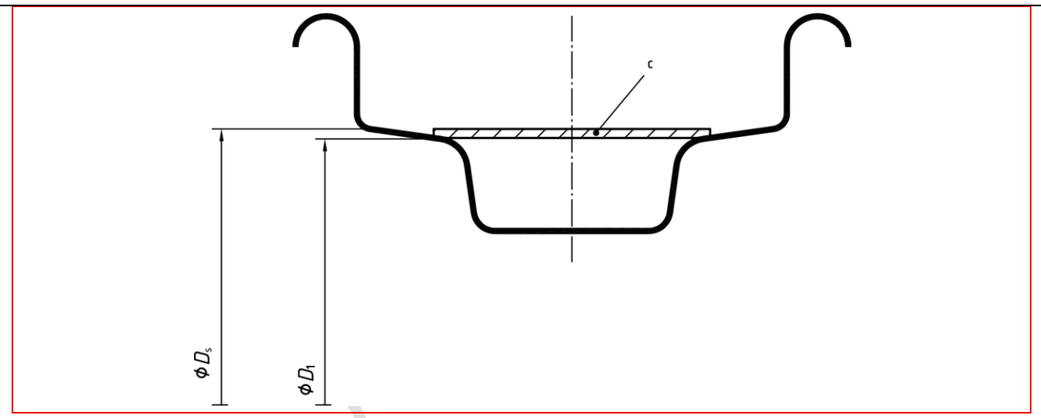
図 A.2－HB リム

パブリックコメント用

178	単位　mm  **図 A.3－CT リム**	
179	**A.4　規定リム径及びビードシート円周の測定方法**	**A.4　ビードシート円周の測定方法及びビードシート径の算出方法**
180	第一の方法（**A.4.1**）は，SS リムだけに適用可能である。第二の方法（**A.4.2**）は，SS リム及び CT リムに適用できる。	**A.4.1 一般** ストレートサイドタイプリム及びクロチェットタイプリムの，ビードシート円周の測定及びビードシート径の算出に推奨される検査ゲージ，テープ及び手順を次に示す。
181	**A.4.1　第一の方法**	**A.4.2　方法 1**
182	リムの測定は，マンドレル円周に対応する標準レベル円周の回りで行う。**図 A.4** に示すようにバンドゲージを用いる。バンドゲージはばね鋼で製作し，両方のビードシート部でリムに均等に当てる。バンドゲージには，対応するリムの内幅及びリムの呼び径が明確に表示されていなければならない。バンドゲージは，あらかじめ対応するリム径に合致したマンドレル又は平たんな面の上で，その長さを確認する。リムのビード周 *F* は，バンドゲージを両方のビードシート部でリムに均等に巻き付けたとき，バンドゲージのまっすぐな先端が，3 mm の切欠きの位置で他端に接するかによって確認する（**表 A.2**，**図 A.4**，**図 A.5** 及び**図 A.6** を参照）。 なお，測定場所の周囲温度の参考値は，20 ℃とする。 熟練したリム検査員の場合を除いて，測定は二人で行うとよい。一人がバンドゲージを定位置に保持して先端を 50 N 以下の力で引っ張り，もう一人が読み取る。	**A.4.2.1　手順** **図 A.2** に示すように，測定対象のリムに対応するテープ幅 *W* の，ばね鋼製の巻尺を使用する。 適切なマンドレル（**図 A.3** 参照）及び定盤の上で，巻尺を確認する。巻尺のテープは平らな状態でなければならない。 巻尺は，両方のビードシート又はビードバンプでリムに均等に接触しなければならない（**図 A.1** 参照）。測定は 2 人で行うことを推奨する。1 人は巻尺を所定の位置に固定し，両端を 5 kg 以下の力で引っ張り，もう 1 人が測定を実施する。巻尺の直線端は，巻尺の切欠きの中にあるもう一方の端に突き当てる。

パブリックコメント用

183



記号説明

c：巻尺

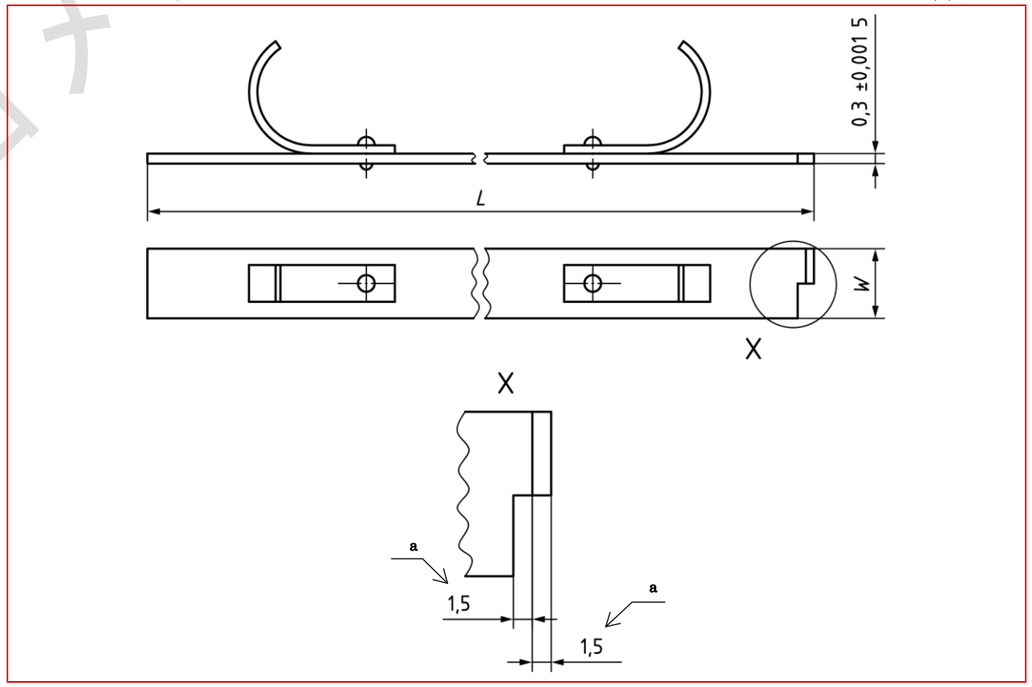
D_s：規定リム径

D_1：測定リム径

図 A.1－リム径の測定

184

単位　mm

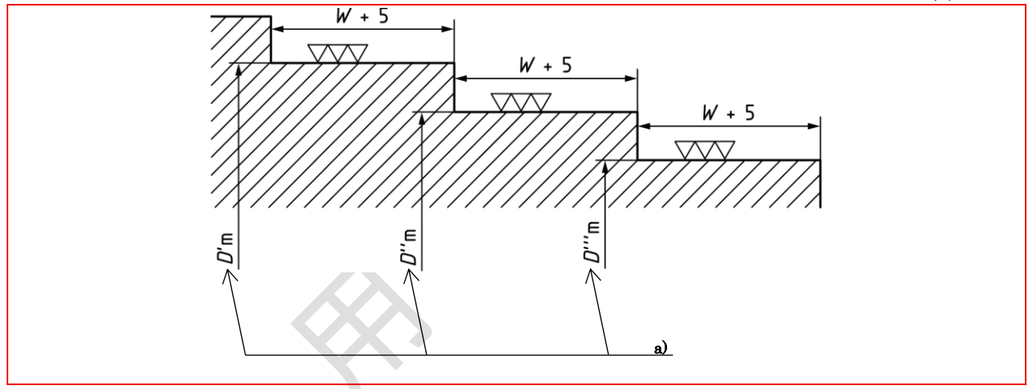


注記　基準温度 20 ℃。

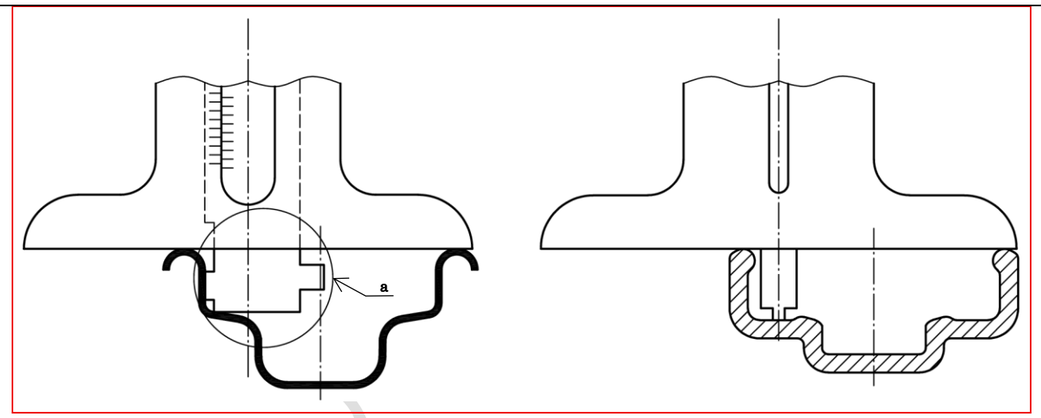
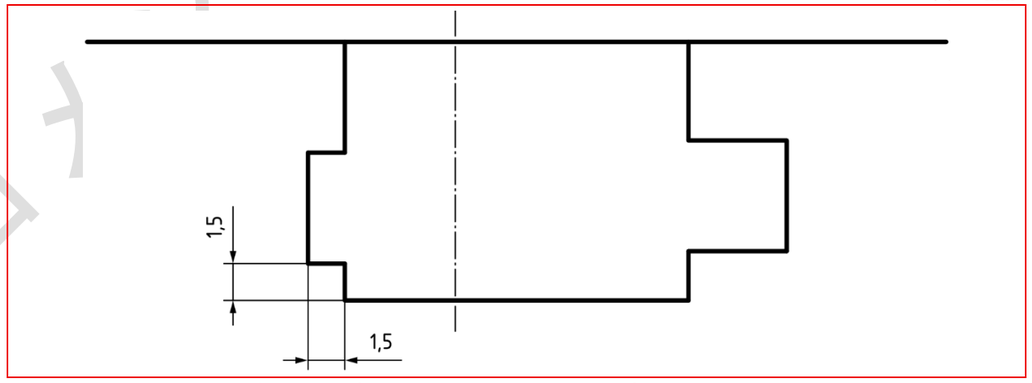
注 a)　ストレートサイドタイプリム及びクロチェットタイプリムは 1.5。

図 A.2－テープの寸法

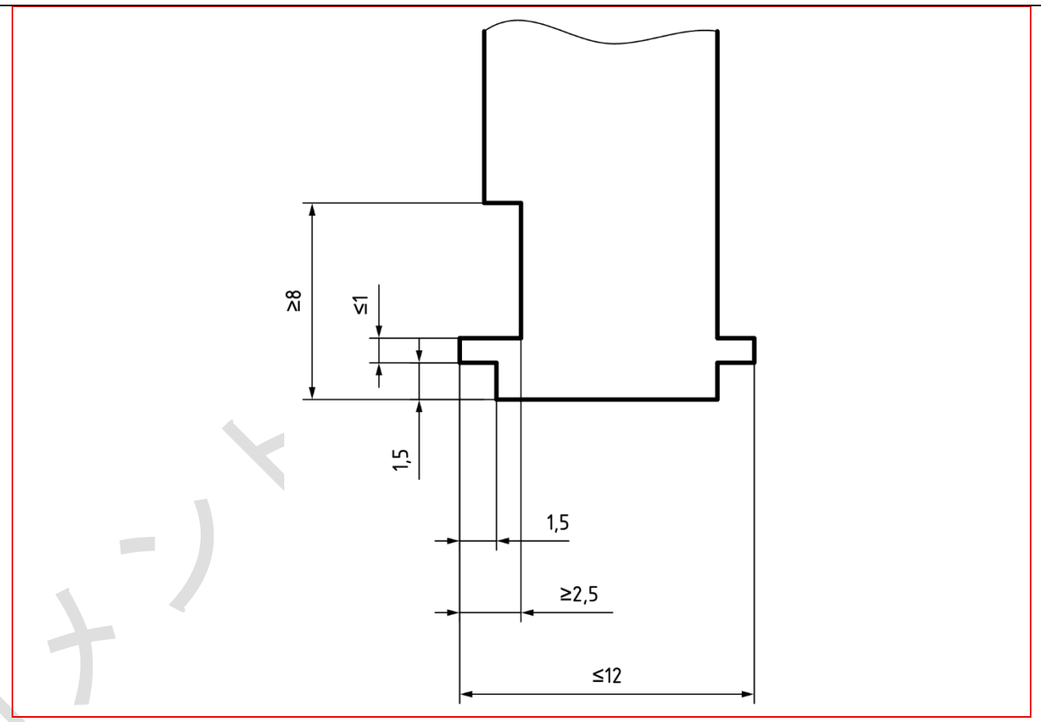
パブリックコメント

185		単位　mm  注 a)　$D_m = D_1$　0/−0.05 。 **図 A.3－テープマンドレル**
186		ストレートサイドタイプリム及びチューブレスストレートサイドタイプリムに対応する巻尺のテープ幅 W は式(A.1)による。クロチェットタイプリム及びチューブレスクロチェットタイプリムに対応する巻尺のテープ幅 W は式(A.2)による。
187		$W = A - 4$ ……(A.1)
188		$W = A - 2$ ……(A.2)
189		ビードシート円周における最大許容差を含む巻尺の理論上のテープ長さ L は，式(A.3)により算出することが可能である。式(A.3)による巻尺の理論上のテープ長さ L の算出は，20 ℃における平らなテープの状態に関連する。
190		$L = \pi(D_1 + 0.3) + 2.0$ ……(A.3)
191		リム幅が 30.5 mm を超える場合は，方法 2 を使用することを推奨する。
192		**A.4.2.2　巻尺の詳細** 巻尺には，リムにおける製品の呼び方（**箇条 10** 参照）及び表示（**箇条 11** 参照）の命名法に従って，次のように表示する。
193		－straight-side (SS)/tubeless straight-side (TSS)
194		－crotchet (C)/tubeless crotchet (TC)
195	**A.4.2　第二の方法**	**A.4.3　方法 2**
196	両耳の外周部（**図 A.4** の D_1）は，伸びのないスチール製メジャー（幅 10 mm，厚さ 0.3 mm，0.5 mm の目盛付き）で測定する。スチール製メジャーは，リムにぴったりと接触するように注意する。両耳各々の外周の測定値 U_{0A} と U_{0B} とを記録する。 適切なノギス（**ISO 5775-2** では vernier gauge と呼称，**図 A.7**～**図 A.9** を参照）を使用し，両側のフランジの高さ G_A 及び G_B を各々数点測定し，各々の平均値を算出する。 次の式を用いて円周の測定値，U_{1A} 及び U_{1B} を算出する。	**A.4.3.1　手順** 鋼製の伸縮しないテープ（幅 10 mm，厚さ 0.3 mm 及び目盛り間隔 0.5 mm）を使用して，両方のフランジの外周を測定する。テープが全周にわたってリムに確実に接触していることを確認し，それぞれ 2 つの測定値 F_A 及び F_B を測定する。 フランジ高さは，**図 A.4** 及び**図 A.5** に示すような適切なスライドゲージを使用して測定し，正しい突起部を使用するように注意しながら測定する。フランジ高さの測定は，片側フランジにつき，フランジ円周上から 4 箇所以上で実施し，かつ，フランジ円周上における測定箇所の間隔は均等に配分する。フランジ高さの測定は，左右両方のフランジについて実施する。 2 つのフランジ高さの算術平均値 T_A 及び T_B を算出する。

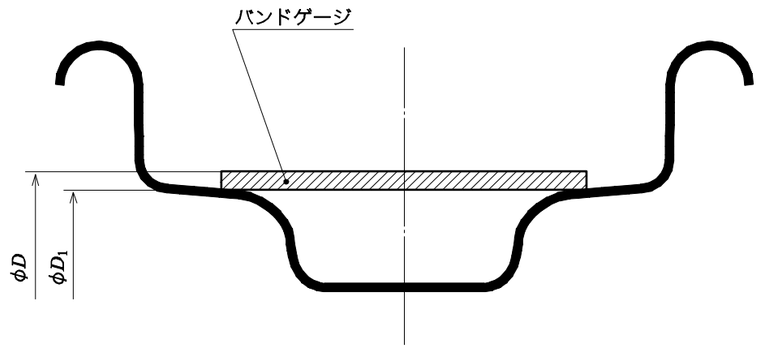
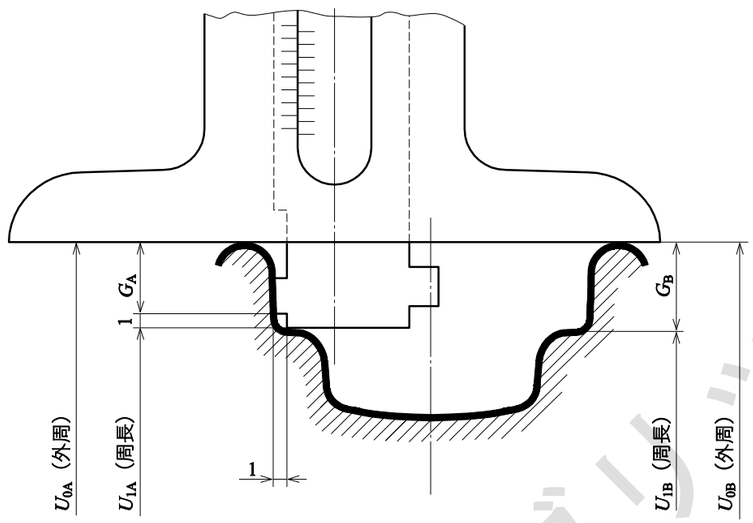
パブリックコメント用

197		 注 a)　図 A.5 参照。 図 A.4－バーニアゲージ
198		単位　mm  a)　ビードバンプのないストレートサイドタイプリムの突起部の詳細

パブリックコメント

		 **b) ビードバンプのないクロチェットタイプリムの突起部の詳細** **図 A.5－バーニアゲージの突起部の詳細**
199	外周で考えると，	式(A.4)及び式(A.5)により，測定したフランジ外周及びフランジ高さの算術平均値を用いて，ビードシート径を算出する。
200	$U_{1A} = U_{0A} - 2\pi G_A$	$D_A = F_A/\pi - 2T_A$ ……(A.4) ここで，D_A： 左側（又は右側）のビードシート径 F_A： 左側（又は右側）のフランジ外周 T_A： 左側（又は右側）のフランジ高さの算術平均値
201	$U_{1B} = U_{0B} - 2\pi G_B$	$D_B = F_B/\pi - 2T_B$ ……(A.5) ここで，D_B： 右側（又は左側）のビードシート径 F_B： 右側（又は左側）のフランジ外周 T_B： 右側（又は左側）のフランジ高さの算術平均値
202	半径で考えると，	
203	$\frac{U_{1A}}{2\pi} = \frac{U_{0A}}{2\pi} - G_A$	
204	$\frac{U_{1B}}{2\pi} = \frac{U_{0B}}{2\pi} - G_B$	
205	両方の円周を，**表 7** で示した D_1 の値と π との積と比較する。	式(A.4)及び式(A.5)より算出したビードシート径 D_A 及び D_B を，**表 2** 又は**表 4** の測定リム径 D_1 と比較する。
206	**注記** 二つの外周 U_{0A} と U_{0B} との差が 2 mm を超える場合は，ノギスを正しく当て，円周の差を補正するために厚さが δ のスペーサを入れる（**図 A.8** を参照）。	

パブリックコメント

207	$$\delta = \frac{\lvert U_{0A} - U_{0B} \rvert}{2\pi}$$	
208	スペーサは，**図 A.8** に示すように短い方のフランジの先端とノギスとの間に入れる。	
209	 **図 A.4－リム径の測定**	
210	単位　mm  **図 A.4－リム径の測定（続き）**	

パブリックコメント用

211

単位　mm

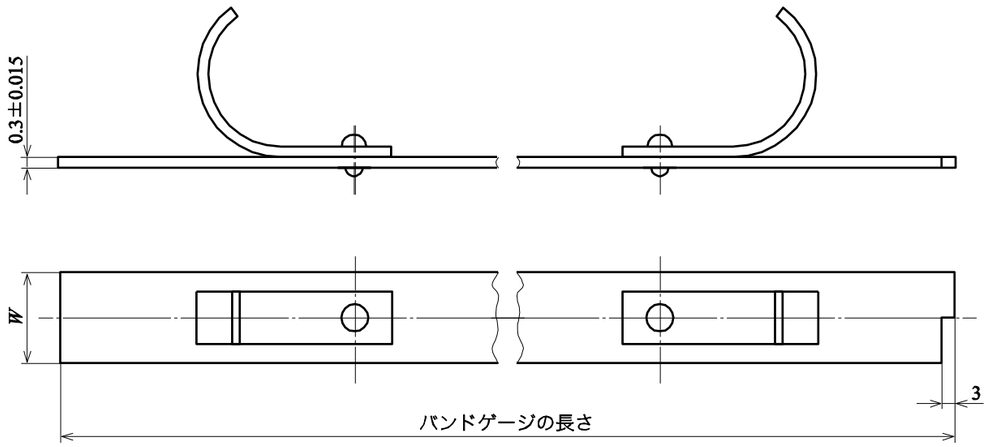


図 A.5－バンドゲージの寸法

212

単位　mm

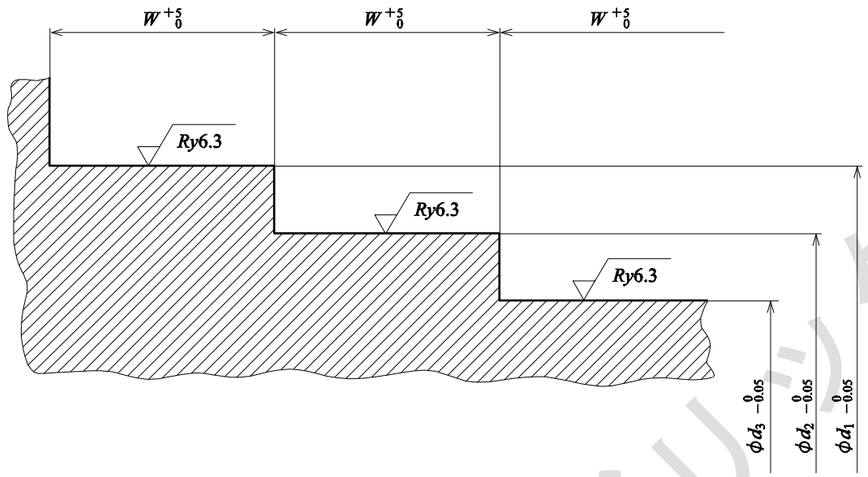


図 A.6－バンドゲージの長さを確認するためのマンドレル

213

表 A.2－リム及びバンドゲージの幅

単位　mm

リムの幅	バンドゲージの幅 W $^{0}_{-0.1}$
18	16
20	18
22	20
24	22
27	25
30.5	28.5

パブリックコメント用

214

単位　mm

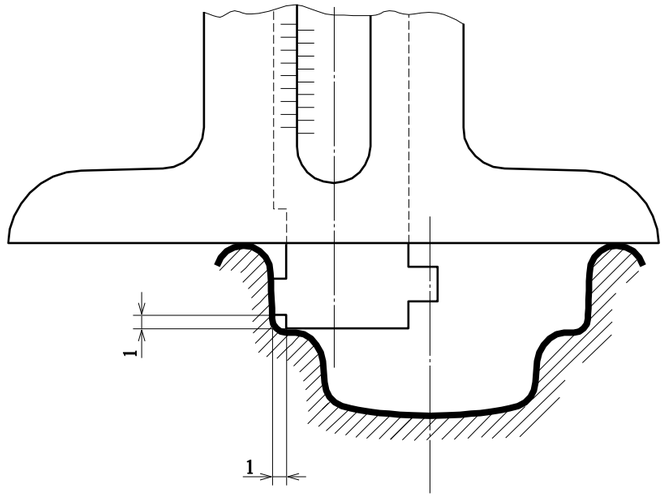


図 A.7－1/20 mm 目盛付きノギス

215

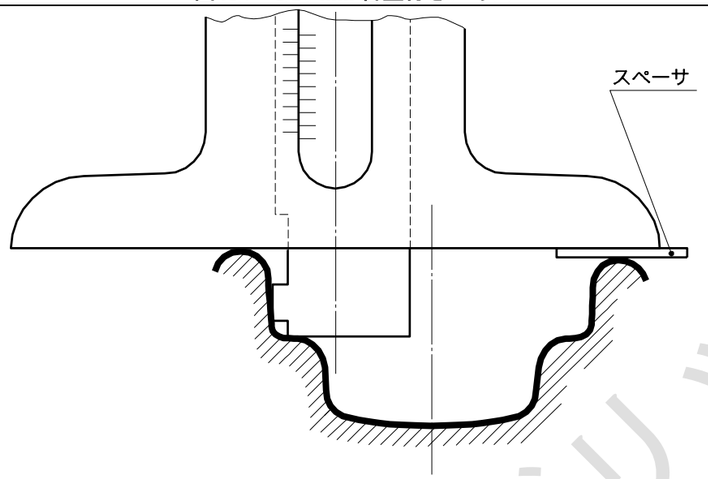
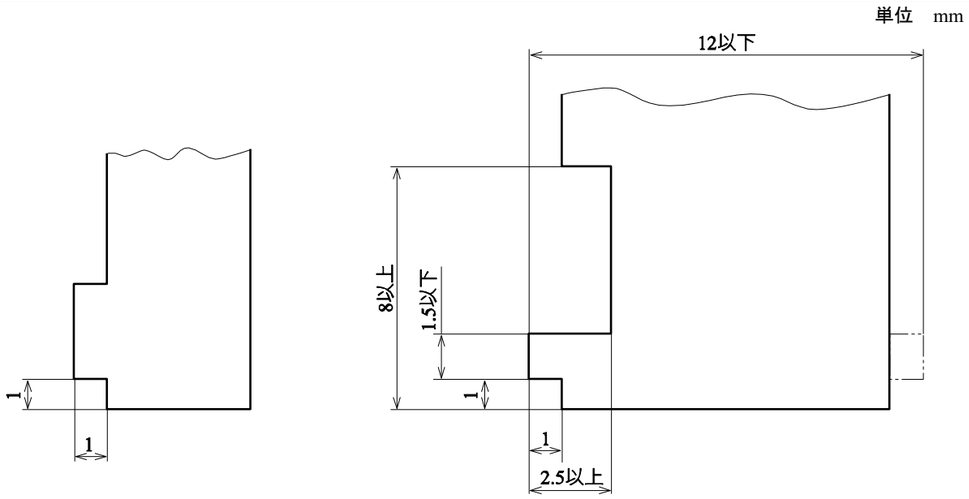


図 A.8－ノギスとスペーサとの併用

パブリックコメント用

216



a)　SS リムの場合　　b)　CT リムの場合

図 A.9－フランジ高さ *G* を測定するためのノギスの詳細

217 **A.5**　リムバンド装着部のくぼみ幅の測定

218 **図 A.10** 及び**図 A.11** を参照する。

219

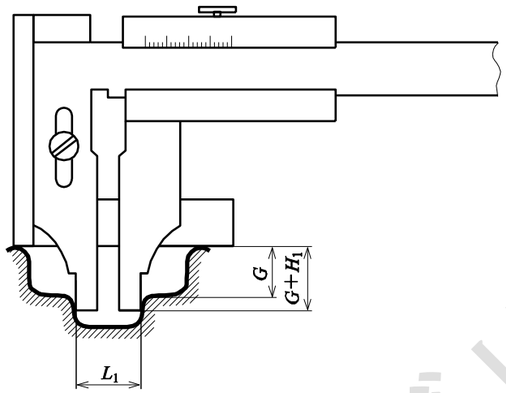


図 A.10－リムバンド装着部のくぼみ幅 L_1 の測定

220

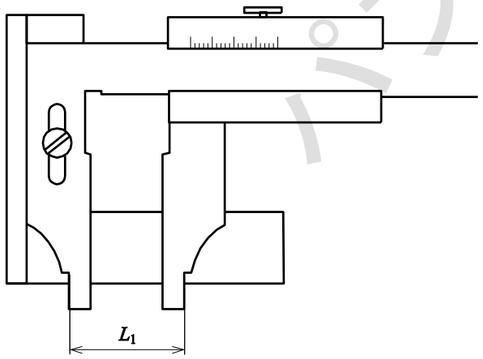
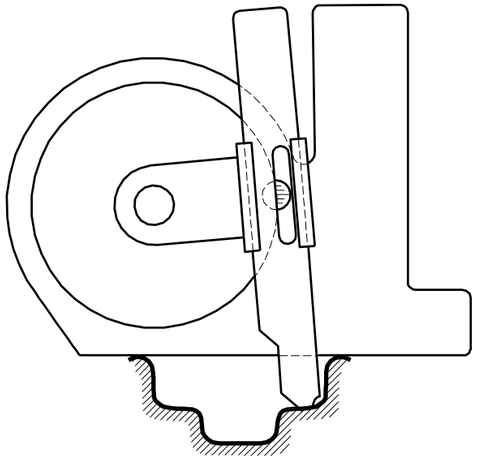
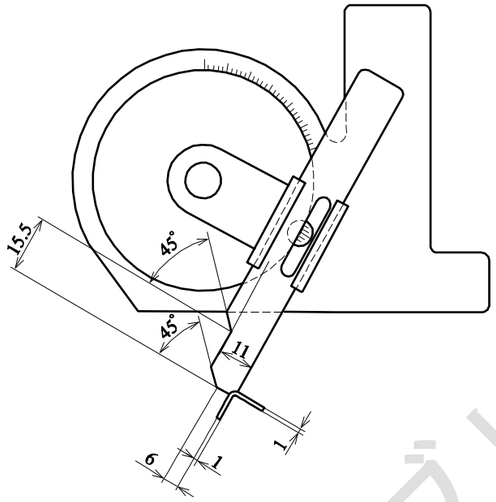


図 A.11－寸法 L_1 を測定するためのノギス

パブリックコメント用

221	**A.6　ビードシート角 β の測定**	
222	**図 A.12** 及び**図 A.13** を参照する。	
223	 **図 A.12－ビードシート角 β の測定**	
224	 **図 A.13－β 測定用ツール**	
225	**A.7　その他のリム寸法の測定**	
226	ビードシートのリム幅 A_1，及び規定のリム幅 A は，**図 A.14** に示すノギスで測定する。	

パブリックコメント用

227

単位　mm

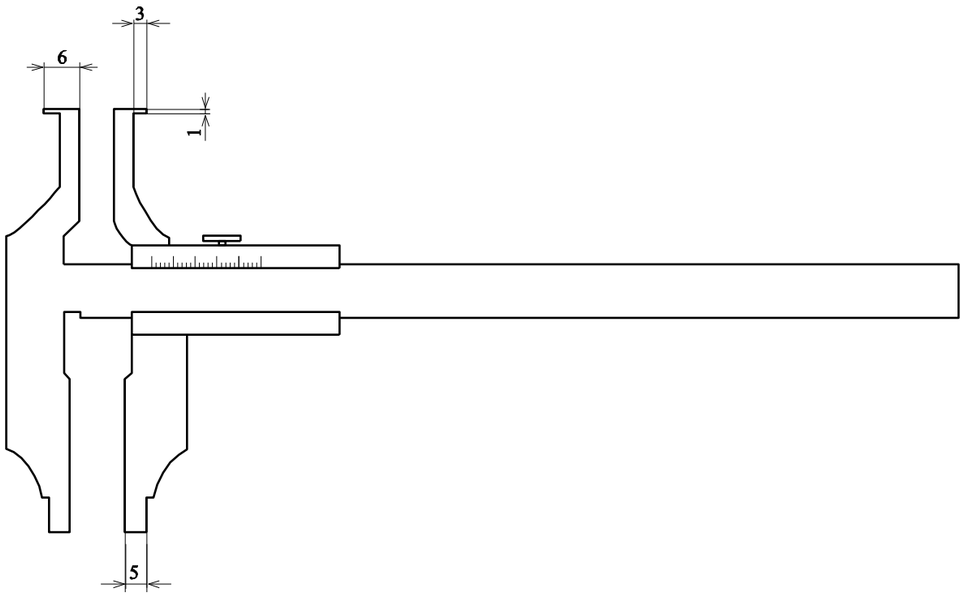


図 A.14－リム幅測定用のノギス

228

附属書 JA

（参考）

旧規格との用語の比較

229

旧規格である **JIS D 9421**:2009 から表記が追加及び変更となった用語について，対応するものを**表 JA.1** に示す

230

表 JA.1－旧規格との用語の対応表

本規格の用語	**JIS D 9421:2009** の用語	備考
ストレートサイドタイプ（SS）リム	SS リム	
チューブレスストレートサイドタイプ（TSS）リム	－	ISO 5775-2:2021 に合わせて追加。
クロチェットタイプ（C）リム	CT リム	
チューブレスクロチェットタイプ（TC）リム	－	ISO 5775-2:2021 に合わせて追加。
ワイヤードオン（WO）リム	WO リム	
フックドビード（HB）リム	HB リム	
フックドエッジ（HE）リム	HE リム	
運搬車用ビーデッドエッジ（BE）リム	BE リム	自転車用 BE リムが国内では生産終了し，再生産の見込みがないため，本規格では自転車用 BE リムを削除した。運搬車用 BE タイヤの実態は不明のため本規格に残す。

パブリックコメント用